# 施策4

# まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興 (全17事務事業)

## 施策4.まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興

## ● 施策評価表

● 事務事業評価表		掲載開始 ページ
	(まちの魅力推進課)	1
2. 県観光団体参画事業	(まちの魅力推進課)	3
3. 商工業支援事業	(まちの魅力推進課)	5
4. 吉原農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)	(生活安全課)	7
5. 糟屋地域農業振興連絡協議会参画事業	(都市整備課)	9
6. 農区等支援事業	(都市整備課)	11
7. 早期水稲苗育成助成事業	(都市整備課)	13
8. 農業用施設維持管理事業	(都市整備課)	15
9. 農業用井堰管理事業	(都市整備課)	17
10. ファミリー農園管理事業	(都市整備課)	19
11. 伝承文化振興団体支援事業	(社会教育課)	21
12. 文化財整備·保護事業	(社会教育課)	23
13. 竪坑櫓保存管理事業	(社会教育課)	25
14. 歴史資料室運営事業	(社会教育課)	27
15. 発掘調査事業	(社会教育課)	29
·	·	

	施策評	平価表 (事業実施年度:令和 05 年度)	前期基本計画期間 《令和3年度~7年度》				
体総 合 計	基本目標	1. "ひと"と"まち"がにぎわい魅力あふれるまち	施策統括課まちの魅力推進課				
計 系画	施策	4. まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	関係課都市整備課·社会教育課				

1. 施策の成果指標の達成度

1. 施策の成果指標の達成度					
成果指標	単位	基準値	R5目標値	実績値の年次推移	判定
(関連する町の取り組むべきこと)	1 1-2	目標の方向性	R5実績値		13/4
まちの魅力発信イベント開催数【総合戦略】		2	2	5 件 <u>目標値 △ 実績値 ●</u> 4	
1	件	7	2	2 1 0 2 2 2 2 2 3 3 4 8 4 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	a
4 1					
志免町に愛着がある町民の割合	0.	76.0	78.4	85 % 目標値 △ 実績値 ● 83 81 81 81 79	_
	%	7	82.6	77 75 73 76.8 77.6 78.4 79.2 80.0	a
4-2				基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
起業塾の参加者数 【総合戦略】		8	9	35人 <u>貝標値 △ 実績値 ● 30 24 24 15 △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ </u>	_
4-3	人	7	24	10 0 0 0 8 <u>Δ</u> <u>Δ</u> <u>Δ</u> <u>Δ</u> 8 <u>9</u> <u>9</u> <u>10</u> <u>10</u> <u>4</u> <u>4</u> <u>4</u> <u>4</u> <u>4</u> <u>4</u> <u>8</u> <u>8</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>10</u> <u>10</u>	a
事業所数		1,621		1,7债業府 <mark>目標値 △ 実績値 ●</mark> 1,650 1,600	
	事業所	$\rightarrow$	1,616	1,550 1,621 1,621 1,621 1,621 1,621 1,621	a
4-3			,	基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
遊休農地(耕作放棄地)面積		1.67	1.27	1.8 ha 目標値 △ 実績値 ● 1.6 1.4 1.2 1.0 1.0 0.8 0.6 0.4 1.26 △ 1.27 0.42 1.00 0.42	
	ha	7	0.42	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	a
4-4		•		基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
はずら ロー・サー・ファー 「	ᅺᆖᆂᅩ				

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

## 2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

4-1 まちの魅力を発信する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	まちの魅力推進課
まちの魅力の発信 49 位 / 21 位	まちの魅力推進課

	町が取り	組むべきこと①	商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】								
	主な	取り組み状況	·商工会 ·住民団	青年部が行 体である「志	まつり、商工ミニフェス う花火の打ち上げにて 5免68」が行う音楽イ ミ」が行う「志免祭」を	oいて、補助金 ベント「タテコ <sup>・</sup>	を交付し、田	丁の窓口とし	て支援し が向き」か	た。 ヾ行う「	夏まつり」、
		課題	なし								
	R7年	度取り組み方針	・引き続	き、商工会や	ッ町内の団体などのイ	ベント開催をえ	支援する。				
	町が取り	組むべきこと②	企業や商	商工会、行政:	が連携し、まちの魅力	を発信するイク	ベントの企画	回やPRを行い	ハます。		
	主な	取り組み状況	・中の坪	・アビスパ福岡とフレンドリータウン協定による「志免町応援デー」を開催した。 ・中の坪公園において、商工会及び周辺の企業と連携しイルミネーションの点灯イベント「ともにともそうプ コジェクト」を行った。							
		課題	・イルミネーションイベントについては、屋外イベントであるため天候に左右される。								
	R7年	度取り組み方針	・天候に	左右されない	いイベントを実施する	o					
	町が取り	組むべきこと③	住民活動	助団体と連携	らし、まちを活性化する	5イベントなど	を町内外へ	発信します。	【総合戦	格】	
	主な	取り組み状況	・中の坪 ト」を行	公園においった。その他	て、住民活動団体と連 、上記①②などの住民	携しイルミネー 民活動団体が行	ーションの点 テうイベントI	灯イベント「 こついて広幸	ともにと Bした。	もそう	プロジェク
		課題	なし								
	R7年	度取り組み方針	・引き続	き、商工会や	で町内の団体などと連	携しながら発	信していく。				
					町が取り組むべきこと	の達成状況					
\ 	町が取り	組むべきことを実施し、	ほぼ目標ど								
	町が取り	組むべきことを実施した	が、成果が	あがっていない							
	町が取り	組むべきことを実施でき	ず、成果が	ぶあがっていない							
				<b>₹</b>	構成する事務事業(評価	西対象事業のみ)					
	事務事業名					事務事業評価(転記) 施					<b>頭無禁煙</b>
#				事務事業の概要							J 7 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
番号			概要		経費区分		業費(千円) R5	R6	今後の	優先	施策評価
番号			概要	会計区分		R4 決算	· <u>業質(十円)</u> R5 決算	R6 予算	方向性		施策評価 での方向性
番号		事務事業の 担当課			特定財源	R4 決算 4,044	R5 決算 0	<u>予算</u> 5,806	方向性	優先	施策評価
		事務事業の 担当課 まちの魅力発	信事業		特定財源 一般財源	R4 決算 4,044 204	R5 決算 0 8,763	予算 5,806 1,152	方向性D	優先度	施策評価 での方向性 B
		事務事業の 担当課 まちの魅力発 <sup>の興味や愛着を高めるた</sup>	<b>・信事業</b> ・めに、町民・	や町外住民に	特定財源一般財源合計	R4 決算 4,044	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b>	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b>	方向性 D 成果・費 用とも	優先	施策評価 での方向性 B 成果拡充・
		事務事業の担当課 まちの魅力発 の興味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベ	<b>終信事業</b> めに、町民 <sup>*</sup> こントの開催	や町外住民に などを行う。	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費)	R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b>	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519)	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150)	方向性 D 成果·費	優先度	施策評価 での方向性 B
		事務事業の担当課 まちの魅力発の興味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調	に、町民での開催	や町外住民に などを行う。  一般会計	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b>	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519) 1.65	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150) 1.25	方向性 D 成果・費 用とも 維持	優先度	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用維持
		事務事業の担当課 まちの魅力発 の興味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベ	に、町民での開催	や町外住民に などを行う。  一般会計	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費)	R4 決算 4,044 204 <b>4,248</b>	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519)	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150)	方向性 D 成果・費 用とも 維持	優先度	施策評価 での方向性 B 成果拡充・
1	対して、また	事務事業の担当課 まちの魅力発の興味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調 県観光団体を	を信事業のは、町民では、町民でという開催を表現した。	や町外住民になどを行う。	特定財源 一般財源 合計 (内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計	R4 決算 4,044 204 4,248	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519) 1.65	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150) 1.25	方向性 D 成果・費も 成果とも D 成果とも	優先度	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用維持
1	対して、また	事務事業の担当課 まちの魅力発の興味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調 県観光団体を	がに、町民だいたの開催というの開催という。 まままま に、福岡県都	や町外住民になどを行う。 一般会計 説光推進協議	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519) 1.65 0 110 110	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150) 1.25 0 120	方向性 D 成果・費も が果とも の果・費	優先度	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用維持 D 成果・費用
1	対して、また	事務事業の担当課まりの魅力発の関係で受着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調果観光団体参照機を広くするためである。	がに、町民だいたの開催というの開催という。 まままま に、福岡県都	や町外住民になどを行う。 一般会計 説光推進協議	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費)	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519) 1.65 0 110 110	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150) 1.25 0 120	方向性 D 成果・費も 成果とも D 成果とも	優先度	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用維持 D 成果・費用
1 2	対して、また 志免町の観 会などに参	事務事業の担当課まりの魅力発の関係で受着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調果観光団体参照機を広くするためである。	を信事業のは、町民で、ントの開催を表して、福岡県都県	や町外住民になどを行う。 一般会計 説光推進協議	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110	R5 決算 0 8,763 <b>8,763</b> (1,519) 1.65 0 110 110	予算 5,806 1,152 <b>6,958</b> (1,150) 1.25 0 120	方向性 D 成果・費も 成果とも D 成果とも	優先度	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用維持 D 成果・費用
1 2	対して、また	事務事業の担当課 まちの魅力発の製味や愛着を高めるたちの魅力を発信するイベまちの魅力推進調・関税・団体を	は、町民代ントの開催を ・ は、福岡県都 ・ は、福岡県都 ・ は、福岡県都	や町外住民になどを行う。 一般会計 現光推進協議 一般会計 取る計 なし ・各種広報媒	特定財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人) 特定財源 一般財源 一般財源 合計 (內 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110 0.24 対する事業の方	R5 決算 0 8,763 8,763 (1,519) 1.65 0 110 110 0.38 可性	予算 5,806 1,152 6,958 (1,150) 1.25 0 120 120 0.37	方向内       成用維       D       成果と持         日本       中央も持       中央も持         日本       中央も持       中央も持         日本       日本       日本	優先	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用 D 成果・費用 とも・維持
2	対して、まち 志免町の観 会などに参	事務事業の担当課まちの魅力発の魅力発信するイベまちの魅力推進調果・観光団体を発信するイベまちの魅力推進調果・観光団体を出ています。まちの魅力推進調まちの魅力推進調まちの魅力推進調まちの魅力推進調	がに、町民でなった。 かに、町民でなったの開催を 連事業に、福岡県舗 生や内容	や町外住民になどを行う。 一般会計 現光推進協議 一般会計 取る計 なし ・各種広報媒	特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) り組むべきことを構成	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110 0.24 対する事業の方	R5 決算 0 8,763 8,763 (1,519) 1.65 0 110 110 0.38 可性	予算 5,806 1,152 6,958 (1,150) 1.25 0 120 120 0.37	方向内       成用維       D       成果と持         日本       中央も持       中央も持         日本       中央も持       中央も持         日本       日本       日本	優先	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用 D 成果・費用 とも・維持
2	対して、また 志免町の観 会などに参	事務事業の担当課まりの魅力発表を高めるたちの魅力を発信するイベスまちの魅力推進課果観光団体参照情報を広くするため画する。まちの魅力推進課新規事業の方向性拡充事業の方向性	は、町民で、町民で、町民で、シトの開催で、 福岡県舗生や内容を生や内容を	や町外住民になどを行う。 一般会計 現光推進協議 一般会計 取なし ・各種広報好なし	特定財源 一般財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) 特定財源 一般財源 合計 (内会計年度任用職員人件費) 関与正職員数(人) り組むべきことを構成	R4 決算 4,044 204 4,248 1.03 0 110 110 0.24 対する事業の方	R5 決算 0 8,763 8,763 (1,519) 1.65 0 110 110 0.38 可性	予算 5,806 1,152 6,958 (1,150) 1.25 0 120 120 0.37	方向内       成用維       D       成果と持         日本       中央も持       中央も持         日本       中央も持       中央も持         日本       日本       日本	優先	施策評価での方向性 B 成果拡充・費用 D 成果・費用 とも・維持

4-2 ふるさと意識を高める	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	计合数套理
文化財の保存・活用と伝統文化の継承 50 位 / 5 位	仁云扒月沐

町が取り組むべきこと①	竪坑櫓の適切な保存管理と活用を行い、その周辺地域とともに歴史や文化にふれあえる拠点をつくります。
主な取り組み状況	・史跡地整備工事や照明施設設置、説明板の設置などを行った。
課題	・竪坑櫓の歴史について、訪れた人が学ぶことができる場所が周辺にない。
R7年度取り組み方針	・竪坑櫓の周辺整備について研究する。
町が取り組むべきこと②	地域への愛着や誇りを育てるため、まちの歴史や伝統文化を継承します。
主な取り組み状況	・各種文化財の認定と適正な管理保存を行った。「旧志免鉱業所第八坑扇風機坑口の排気扇風機及び関連資料」を町指定の文化財とした。 ・歴史資料室が町民センター改修により閉室となっているが、シーメイトで企画展示会を行い、竪坑櫓の特別公開も実施した。 ・伝承文化である石投げ相撲を支援した。
課題	・民具や埋蔵文化財を保管している収蔵庫が分散しており、整理が煩雑になっている。
R7年度取り組み方針	・文化財の収集や調査研究を進め、歴史講座等の公開事業もできるように整理する。 ・引き続き、伝承文化継承のための取組を支援する。
	町が取り組むべきことの達成状況

- ☑ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげているⅢ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていないⅢ 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

		構成する重務重業/	まが免車業のみ、	1				構成する事務事業(評価対象事業のみ)							
	事務事業名	一円   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	事務事業計				ħ	<b>電策評価</b>							
番	3 373 3 11 12		3 379 3 71-2	市型男/工川)			-								
番号	事務事業の概要	経費区分	R4	R5 I	R6	今後の	優先	施策評価							
	担当課       会計区分		決算	決算	予算	方向性	度	での方向性							
	伝承文化振興団体支援事業	特定財源	0	0	0	D		D							
	四外人们派兴团件人派争未	一般財源	0	418	439										
1	地域文化の伝承活動を行いやすくするために、伝承文化振 興団体に対して、助成金を交付する。	合計	0	418	439	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持							
		(内 会計年度任用職員人件費)				維持		○ ○小年14							
	社会教育課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.08	0.08	0.04										
	文化財整備・保護事業	特定財源	0	0	0	D		D							
	人口於正備 小枝子木	一般財源	3,636	3,348	4,626										
2	文化財が適正に管理・保存されるように、文化財保護審議会の運営や文化財整理を行う。	合計	3,636	3,348	4,626	成果・費 用とも	0	成果・費用 とも維持							
		(内 会計年度任用職員人件費)	(1,204)	(1,313)	(1,614)	維持		この時が							
	社会教育課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.33	0.34	0.37										
	竪坑櫓保存管理事業	特定財源	3,799	54,183	-	D		D							
	立列間外门自在手术	一般財源	164	35	- -	- 10									
3	竪坑櫓が適正に保存・管理されるように、補修工事などを行う。	合計	3,964	54,218	別事業 と統合	用とも	_	成果・費用とも維持							
		(内 会計年度任用職員人件費)			-	維持		C O₩#14							
	社会教育課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.28	0.31	-										
	歴史資料室運営事業	特定財源	0	0	0	D		D							
		一般財源	608	303	306										
4	志免町の歴史や文化財の知識を深めることができるよう に、町民に対して、歴史資料室の企画展や文化財ウォーク、	合計	608	303	306	成果・費 用とも	_	成果・費用とも維持							
	炭鉱かるた大会などを開催する。	(内 会計年度任用職員人件費)				維持		この時が							
	社会教育課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.30	0.27	0.36										
	発掘調査事業	特定財源	0	0	67	D		D							
	プロが回り旦子木	一般財源	455	536	711										
5	遺跡や埋蔵文化財が適切に記録保存されるように、埋蔵文 化財の調査を行う。	合計	455	536	778	成果・費用とも	_	成果・費用とも維持							
		(内 会計年度任用職員人件費)				維持									
	社会教育課     一般会計	関与 正職員数(人)	0.37	0.34	0.37										

## 施策4

	町が取り組むべきことを構成する事業の方向性							
ビルド	新規事業の方向性や内容							
C/V *	拡充事業の方向性や内容	なし	¥U					
スクラップ								
X7377	縮小事業の方向性や内容							
R7²	<b>手度の町が取り組むべきこと</b>	<ul><li>この方向性 [</li></ul>	<ul><li>□ 最優先</li><li>□ 優先</li><li>☑ 維持</li></ul>					

4-3 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	まちの魅力推進課
地域の商工業と新たな創業者の育成支援 48 位 / 38 位	0 / 2 / / / D / 5 / P / C P / (

	町が取り	組むべきこと①	糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者  の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】								
	主な	取り組み状況	・創業支持	・創業支援等事業計画に基づき、3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」を開催した。							
		課題	なし	なし							
	R7年	度取り組み方針	・引き続き	引き続き、創業支援等事業計画に基づき、3町合同の創業支援に関する「起業塾」を行う。							
	町が取り	組むべきこと②		業者の創業 ます。【総合	や事業拡大への町有 戦略】	地や公共施設	段の利活用を	促進する機会	会をつく	り、事	業者の育成
	主な	取り組み状況	·利活用	できる町有均	也、公共施設を検討し	たが、該当す	るものがなか	いった。			
		課題	·町有地 <sup>·</sup>	や公共施設で	で利活用できる場所が	が特定できない	ν <sub>0</sub>				
	R7年	度取り組み方針	・引き続き	き、町有地や	公共施設で利活用で	きる場所につ	いて関係機	関と連携した	ながら情	報収集	を行う。
	町が取り	組むべきこと③	地域の商	工業の維持	と充実に向けた支援	を行います。					
	主な	取り組み状況	・商工会がの他、本語	が実施したで事業に関する	プレミアム付電子商品 る周知や問合せ対応を	券「しめPay」 を行った。	について、フ	プレミアム分え	及び事務	費を支	援した。そ
		課題	・令和4年 とに加え	F度以降交付 、県の本事業	されていた国の新型  美支援に係る負担割台	ピコロナウイル 合が継続される	ス感染症対原 る担保もない	応地方創生的 いことから、則	臨時交付 オ源が不	金が廃 安定で	止されたこ ある。
	R7年	度取り組み方針	・今後の発実施する		イルス感染症の地域	経済への影響	響を考慮し、	fたな運用形	態も検討	対しなが	がら事業を
_					丁が取り組むべきこと	この達成状況					
L		組むべきことを実施し、 組むべきことを実施した			けている						
		組むべきことを実施でき									
		= 75 = W		ħ	構成する事務事業(評価		· / / \				
巫		事務事業				事務事業評	( <u>恤(転記)</u> (工工) (本性)		A 44: -	施策評価	
番号		事務事業の	概安		経費区分	R4	R5	R6	今後の 方向性	優先 度	施策評価での方向性
		担当課		会計区分	特定財源	<u>決算</u> 42,909	<u>決算</u> 0	<u>予算</u> 14.607	D	IX.	D
		商工業支援	手業		一般財源	16,407	57,566	16,800			D
1	商工業者が	事業活動を行いやすく	なるように、	志免町商工	合計	59,316	57,566	31,407	成果・費 用とも	_	成果·費用
	会に対して	、補助金の交付などを行まちの魅力推進課		一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.97	1.06	0.95	維持		とも維持
新規事業の方向性や内容なし											
拡充事業の方向性や内容なし											
ス	スクラップ	廃止事業の方向性	生や内容	なし							
		縮小事業の方向性	生や内容	なし							
	R7£	<b> </b>   再度の町が取り組む	ごべきこと	の方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持						

4-4 適切な農業のあり方を確立する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	都市整備課
農業の支援 46 位 / 46 位	他们金洲球

町が取り	り組むべきこと①	県や粕屋農業協同組合と一体となって、新規就農希望者が就農しやすい環境づくりを行います。 							
主な	な取り組み状況	・福岡県普及センター、粕屋農業協同組合及び志免町で、新規就農の相談に対して情報を共有した。							
	課題	・志免町内の農地面積は減少傾向にあり、新規就農する方の候補地として対象になりづらい。							
R7年	度取り組み方針	・福岡県普及センター、粕屋農業協同組合及び志免町で、新規就農の相談があれば情報を共有し、就農に結びつける。							
町が取り	J組むべきこと②	「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき、農業委員会と連携して遊休農地の解消や担い 手への農地利用集積、新規参入の促進を行います。							
主な	な取り組み状況	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地の判断を行った。 ・再生困難な農地に対しては、非農地決定を行った。							
	課題	・志免町内の農地面積は減少傾向にあるため、遊休農地が発生しやすい。 ・担い手の不足により、集積する対象としての農業者が不足している。							
R7年	=度取り組み方針	・農業委員会で農地パトロールを行い、遊休農地の判断を行う。 ・新規参入の促進として、新規就農相談会を農業委員会と連携して行う。							
町が取り	川組むべきこと③	国や県の政策に応じて、地元の農産物にふれることができるよう、ソフトとハードの両面から農業を支援 します。							
主な	ぶ取り組み状況	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及センター、粕屋農業協同組合及び志免町で情報共有し、粕屋農業協同組合を主体として農家へ情報提供した。 ・ハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施した。 ・国及び県の補助事業については、県と協議を行った。							
	課題	・国、県のソフトの補助メニューはあるが、農家戸数の減少により交付対象者が少ない為、利用できない。							
R7年	=度取り組み方針	・国や県のソフトメニューの補助については、福岡県普及センター、粕屋農業協同組合及び志免町で情報共有し、粕屋農業協同組合を主体として農家へ情報提供する。 ・引き続きハード事業については、町が主体となり、地元と協議を行い実施する。 ・国及び県の補助事業については、県と協議を行う。							
Mr. I Mr.	町が取り組むべきことの達成状況								
	<ul><li>☑ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている</li><li>Ⅲ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない</li></ul>								
=		-ガ、成果があがっていない							

## 施策4

			<b>₹</b>	<b>構成する事務事業(評</b> 備								
_		事務事業名			事務事業評				方	<b>西策評価</b>		
番号		事務事業の概要 担当課	一会計区分	経費区分	R4 決算	事業費(千円) R5 決算	R6 予算	今後の 方向性	優先 度	施策評価 での方向性		
	+==			 特定財源	<u>次异</u> 0	<u> </u>	<u>]′异</u> 0	D		D		
	古原原	<b>農区活性化事業</b> (吉原農区活性)	<b>L基金積立金</b> )	一般財源	0	0	0					
1	吉原農区活 を行う。	性化推進のために、吉原農区活性化	比基金の管理	合計	0	0	0	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
	-1320	<b></b>	6九∠○=⊥	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.01	0.01	0.01	維持		この作り		
_	4# C 14	生活安全課	一般会計	特定財源	0.01	0.01	0.01	D		D		
	糟屋地	域農業振興連絡協議会	<b>参</b> 画事業	一般財源	324	331	440					
2	づけを図る	農業経営の継続的発展と町民へ地 ために、糟屋地域農業振興連絡協調	産地消の意識 養会に参画す	合計	324	331	440	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
	る。	±/7 <del>- 1</del> - ±/- /±±=m	□ 机△=1	(内 会計年度任用職員人件費)	0.43	0.42	0.17	維持		この作り		
_		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人) 特定財源	0.42 223	0.43 223	0.17 223	D		D		
		農区等支援事業		一般財源	2,044	2,024	2,128	D		D		
3	めに、農区な	間での連携強化や地域農業経営力引 や農事組合に対して、会議の開催や	能化を図るた 補助金の交付	合計	2,267	2,247	2,351	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
	などを行う		<u> </u>	(内 会計年度任用職員人件費)				維持		この抵抗		
_		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.42	0.45	0.26			D		
		早期水稲苗育成助成事	業	特定財源 一般財源	0 736	744	0 790	D		D		
4		らし、安定的な農業用水の確保のな	めに、極早生	合計	736	744	790	成果・費 用とも	_	成果・費用		
	水榴作付農	家に対して、補助金の交付を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)				維持		とも維持		
		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.23	0.23	0.06					
		農業用施設維持管理事	業	特定財源 一般財源	1,760 4,669	1,870 4,402	5,059	D		D		
5		等の機能が良好に保たれるように、 設・改良工事などを行う。	農業用施設	合計	6,429	6,272	5,059	成果・費用とも	0	成果・費用 とも維持		
		都市整備課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.30	0.40	0.38	維持		C 0 1121 1		
_			以五口	特定財源	327	333	900	D		D		
		農業用井堰管理事業		一般財源	1,499	4,825	4,338	_		_		
6	農業用水が	確保できるように、井堰の点検や修	5繕を行う。	合計	1,826	5,158	5,238	成果・費用とも		成果・費用 とも維持		
		都市整備課	6元∠○三上	(内 会計年度任用職員人件費)	0.34	0.34	0.24	維持		C O小F14		
			一般会計 	関与 正職員数(人) 特定財源	0.34	0.34	0.24	D		D		
		ファミリー農園管理事業	Ē	一般財源	4,340	4,795	3,974					
7	農地が適切		ファミリー農	合計	4,340	4,795	3,974	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
			6元△=1	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.36	0.42	0.25	維持		この時が		
		都市整備課	一般会計	り組むべきことを構成	0.00	0.42 方向性	0.25					
		新規事業の方向性や内容		グ値もべここと情が	<b>以,</b> 0 <del>可来</del> (7)	/J  *J   <u>L</u>						
	ビルド	拡充事業の方向性や内容	<i>†</i>									
		はいしず木マンノコドコにている	50									
   ス	.クラップ	廃止事業の方向性や内容 なし										
		縮小事業の方向性や内容	なし									
	R7£		の方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持								

#### 3. 施策の総括と今後の展開

成果指標「志免町に愛着がある」と答えた町民の割合は、8割を超えている。昨年度よりやや増加し、目標も上回っており、引き続きイベントや広報活動、町の歴史文化の活用を通して、まちへの愛着や誇り、郷土愛を醸成していきたい。 商工業については、消費喚起や商工事業者支援としてのプレミアム付電子商品券事業は概ね好評である。コロナ禍が明け、住民活動団体や商工会などによるイベントも再開されているため、町としても積極的に支援していきたい。 農業については、町内の農地は福岡市に隣接し、農地転用が盛んに行われているため、年々減少傾向にある。その中で農地として維持される農家へは、確かな支援を農協等と連携し行う。

4	施策の	准を	计分别
┯.	ルビンベマン	'姓1.	111ハルレ

☑ 目標に向かって順調に進んでいる	
目標に向かってある程度順調に進んでいる	
目標に向かってあまり進んでいない	
目標に向かって進んでいない	

[福岡県志免町]

基本性	青報	<b>√</b> 05	5年度 実施計画事業	✓総合戦略該当事業	į				事務事業コード	0404101
事	事務事業名 		まちの魅力	発信事業		担当課	まちの魅力推進課		担当係	まちの魅力づくり係
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴	歴史文化・産業の振興	予算	, 会計 款	01	一般会計 総務費		
合計画系	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する	)	科目	項 目	03 01	企画費 企画総務費		
根拠	L法令条例等				1	固別計画				
実施	期間 🔲 05	年度0	りみ ②単年	度繰返 H 28 年度より開	始		期間	限定(複数年)	年度·	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度							
事務事業	①対象	②町民	人	46,631	46,588	<u>(見込)</u> 46,497							
	(誰を、何を)	① 町外住民(国民)	千人	124,947	123,970	123,001							
		Ø											
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町の魅力を感じることができる											
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	まちの魅力を再確認し、対外的にPRするための事業を行う ・まちの魅力発信イベントの開催(ともにともそうプロジェクト、アビスパネ・企業や団体とのイベント開催などの連絡調整 ・志免町の魅力を伝える動画製作	<b>副岡志</b>	免町応援	デー)								

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	まちの魅力発信イベント開催数	<b>1</b>		目標	2	2	2	100.0%
	I	O. D. C. D.	'		実 績		2		1001070
1	活動	  企業や団体とのコラボ企画数	<b>^</b>	件	目 標	2	2	1	50.0%
1	/白勁	正来で団体とのコフル正画数	'	1+	実 績	2	1		50.0%
ゥ	成果	まちの魅力発信イベント参加者数	<b>^</b>	,	目 標	1,350	1,500	2,000	133.3%
.,	以木	よりの極力光信1ペンド参加有数		_ ^	実 績	1,650	2,000		133.3%
I	成果	企業や団体とのコラボ企画参加者数	Λ.	大団体	目 標	7	7	15	228.6%
	以木	正来や団体とのコフル正画参加有数	'	本四本	実 績	7	16		220.070
<b>1</b>					目 標				
7]					実 績				
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨			ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	1,000	
	経	財源	その他	特定財源	4,044	1,900	0	4,806	
業			一般則	才源	204	7,929	8,763	1,152	
典	費		合計(	A)	4,248	9,829	8,763	6,958	5,196
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)		(1,591)	(1,519)	(1,150)	
		正職	員人件費[按	汾](B)	7,878	11,237	13,076	10,003	
		トーク	タルコスト(Α	v)+(B)	12,126	21,066	21,839	16,961	
関与職員数(単位:人) 正職員					1.03	1.45	1.65	1.25	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
第5次志免町総合計画後期基本計画で「まちの魅力発信」という取り組み方針が立てられ、平成28年4月に「まちの魅力推進課」が発足し事業を開始した。		議員や住民団体などは「まちの魅力」「まち の元気づくり」について関心が高い。

事務事業名まちの魅力発信事業

2		f·検証(Cl		()										
		評価の視点					[]	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
		施策への貢			] 貢献度	高い		┃町民が住み続けたいと思える魅力と活力あるまちづくりを行うために						
	(事務	事業の成果が」 す姿の実現に直	-位施策 結してい	の [ ]	貢献度	ぎふつう		は、町内外の人に魅力を感じてもらうことが不可欠である。						
	か)	女の夫別に固	МОСО	. [	貢献度	延低い しょうしん								
妥当	意図	の適切性		Ŀ	2 妥当で	ある		まちの魅力を発信するすることは、総合計画施策4「まちの魅力の向上						
当	(総合	計画、町民の二付して、意図が通	ーズ、法	令 [	]検討の	余地が	ある	■と歴史文化・産業の振興」で町が取り組むべきことに明記されているた ■め妥当である。	3					
	か)	うして、思凶が返	197 C 92	ີ [	一検討の	余地が	多い	の女当である。						
	自治	体関与の必	要性	Ŀ	☑妥当で	ある		町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり、妥当						
		体が主体で取組			一検討の	余地が	ある	] である。イベントでは住民団体や関係団体の協力を得ている。						
	業か、	住民参画の余地	也はない	か) [	]検討の	余地が	多い							
	成果	の向上余地		Ŀ	/ 期待す	る成果	が得られている	新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、イベントなどの周知も						
		する成果を得ら			一成果の	向上余	や地がややある	↑町内外へ発信することができ、多くの方に志免町の魅力を発信すること ↓ができた。						
	を知り		)の氷地	EW. [	]成果の	向上余	地が多い	75° C 27° C						
有	対象	の適切性		Ŀ	/ 適切で	ある		町内外を問わず広く志免町の魅力を発信するためのものであり適切で						
効	(意図:	を達成するうえ 设定が最も有効:	で、現状か、他に	tの [	〕改善の	余地が	ややある	<b>す</b> ある。	2					
性	対象が効な対	対象設定はない	か)	7	改善の	余地が	多い							
	手段	の適切性			適切で	ある		イベントを中心にまちの魅力を発信してきたが、今年度作成した「志免						
		を達成するうえ が最も有効か、他			ひ善の	余地が	ややある	町の魅力を伝える動画」を新たな情報発信の手段として活用していきた。    い。						
:	手段に	はないか)	SIC H XI	Î	〕改善の	余地が	多い	010						
	業務の効率化			Ŀ	/ 効率的	]である		必要最低限の人員で実施し、業務手順も簡素化しているため効率的で + 2						
		新順、関与職員人数につい <				余地が	ややある	<b>්</b> ක්රි						
	.,,,,	<b>恒しの余地はない</b>	,		改善の	余地が	多い							
効	投入	入コストの適切性 ✓ 適切である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						必要最低限のコストで実施している。プロモーション事業の規模とコスト は比例するが、手法等を検討しコスト削減に努めている。						
率							ややある							
		世はないか)				余地が	多い							
	財源	確保の適切	性	Ŀ	/ 適切で	ある		国・県等の補助金はない。おうえん基金を充てており、一般財源のコスト						
		者負担は適正が	、国、県	!等			ややある	は最小限に抑えられている。						
	の補助	かい (対象の)			」改善の	余地が								
					当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	1 W N . —					
			0点	1点	2点	3点		たイベントとして、アビスパ応援デーではコロナ禍前のイベントも復活し、観 招待することができ、志免町・商工会のブースも設置して町内外の方にも記						
		いずれか0点	d	С	С	С	町をPRするこ		シノし					
	有			_	_	_	ともにともそう	うプロジェクトでは、点灯式当日のイベントについて、住民活動団体と協働・						
分析	了 文 T	カ いずれか1点	С	С	С	С		でき、当日はステージイベントや出店者の参加、アビスパ福岡の選手がカウ	ント					
•	'   i	· 合計4点	С	С	b	b	メディアを通り	するなど、多くの方が来場し魅力を発信することができた。 じた情報発信として「ふるさとWish」では、様々な町の情報や志免町の良っ	トを					
検	交交交	为 ————————————————————————————————————					発信すること	ができた。						
記紹		合計5点	С	b	b	а		いた情報発信の新たな手段として「志免町の魅力を伝える動画」を製作した。今後						
上下		合計6点	С	b	а	а	は劉벨を活用	した情報発信も併せて行っていきたい。						
			業務	の内	容は適	切で								
		a	ある											

<u> 3 万</u>	亚  (A)	<u>- 1101</u>	N) L)	J1/I 1/X	山下	ے ں ک	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	各種広報媒体のリニューアルや運用変更、魅力発信のための動画やシメッチャ関連グッズの 制作などを行い、あらゆるメディアを活用した情報発信を行っていく。
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
任		休廃止	G				
	E	3	成果	拡充・	費用網	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□0;	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	0404102
Ę	事務事業名		県観光団体参	多 多 画 事業	ŧ	担当課	まちの魅力推進課		担当係	まちの魅力づくり係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴り	 史文化・産業の振興	予算	会計款	01	一般会計 商工費		
計画系	取り組み方針	4-1	まちの魅力を発信する		科目	項 目	01	商工費 商工総務費		
根挑	処法令条例等				個	別計画				
実施	期間 🗆 🗆 05	5年度の	のみ ②単年限	度繰返 H 6 年度より開始	ä		期間	艮定(複数年)	年度·	~  年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

( ) /	予切予未 <b>の口可</b> と予未に					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 加盟団体	団体	3	4	4
事務事業	(誰を、何を)	0				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	志免町の観光情報等のPRが行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	観光資源の宣伝及び観光客の誘致促進を行う県観光団体へ加入し、情報・加盟団体への負担金支払事務・会議等への参加・発信情報の提供	収集や	が町の情報	<b>保提供を</b> 行	ŢÒ

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金交付団体数	<b></b>	団体	目標	3	3	3	100.0%
,	71120	大二 並入 「	'	на ит-	実 績	3	3		100.070
1	活動	会議等へ参加回数	<b>^</b>	回	目 標	3	4	4	50.0%
1	/白刬	公談寺へ参加四数	l I	띰	実 績	3	2		30.07
ウ	成果	クロスロードふくおか(ホームページ)掲載件	<b>^</b>	件	目 標	9	9	10	111.1%
.,	八未	数	l	1+	実 績	9	10		111.1%
エ	成果	福岡よかとこ、COM(ホームページ)掲載件数 全国観光 情報データベース(ホームページ)掲載件数	<b>^</b>	件	目 標	12	12	11	91.7%
	风未	情報データベース(ホームページ)掲載件数	'	1+	実 績	12	11		91.7%
オ					目 標				
7)					実 績				
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 り合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	110	120	110	120	
費	費		合計(		110	120	110	120	
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	1,839	2,560	3,010	2,963	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	1,949	2,680	3,120	3,083	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.24	0.33	0.38	0.37	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町の観光や産業のPRを行うため、平成6年に2団体へ加入。その後、福岡地区観光協議会に加入、負担金は平成28年度から発生している。福岡県サイクルツーリズム推進協議会に平成31年1月加入した。	観光に関する情報がネットやSNS、雑誌で数多く発信されるようになってきた。	特になし。

2	分村		検証(Cl		()									
			価の視点				項	<b>目</b>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
	上位	施	策への貢	献度	Ŀ	] 貢献度	高い		文化財や伝統文化を通してまちの魅力を発信することは、まちに愛着や					
			業の成果が」 の実現に直			貢献度	<b>Eふつう</b>		誇りを持つことにつながり、また住み続けたいと思えるまちづくりに結 がついている。					
	か)	9 🗴	の大坑に巨	MID C C		]貢献度	低い		0 201000					
妥	意図	<b>図</b> の	適切性		Ŀ	/ 妥当で	ある		志免町に多くの人を呼び込むには、様々な団体から情報発信することは					
当		計论	画、町民の二	ーズ、法	令 [	一検討の	余地が	ある	妥当である。	3				
性	か)	XJU	て、意図が通	剄切 ぐめ∙		]検討の	余地が	多い						
	自治	体	関与の必	要性	Ĺ	2 妥当で	ある		県の観光団体が県内市町村のPRをしており、町が取り組む事業と考え					
	(自治	分体が	が主体で取約	且むべき	<sub>事</sub> [	]検討の	余地が	ある	<b>ే</b> .					
	業か、	、住	民参画の余地	也はない	か)	]検討の	余地が	多い						
	成果	₹の	向上余地			期待す	る成果	が得られている	新たな魅力を創出や情報発信の手段は向上の余地がある。					
			る成果を得らる成果をあ			/ 成果の	向上余	地がややある						
	を別があるが		る成未での	りる赤垣		成果の	向上余	地が多い						
有	対象	対象の適切性			ある		町の魅力は町内外の方へ幅広く発信していく必要があるので、団体に							
効		図を達成するうえで、現状の 設設を設定が最も有効か、他に有 対象設定はないか)  図巻の余地がややある  立対象的定はないか)  改善の余地が多い		ややある	加入することは適切である。	2								
性	対象が効なが	設定 対象	か最も有効	か、他に か)	† [	〕改善の	余地が	多い						
	手段	との	適切性		Ĺ	/ 適切で	ある		町単独で行うより、県や他の観光団体が行う方が、より多くの方に届け					
	(意図	意図を達成するうえで、現状の ・段が最も有効か、他に有効な ・段はないか) 美務の効率化	(の [	〕改善の	余地が	ややある	ることができるため効果が大きい。							
				凹に有効	~ [	改善の	余地が	多い						
	業務	多の	効率化		[·	/ 効率的	である		必要最低限の業務を行っており、効率的である。					
	(業務	新手川	順、関与職員	人数にこ	ou [	〕改善の	余地が	ややある						
	て見i	直しの余地はないか) □ 改善の余地が多い				改善の	余地が	多い						
効	投入	(J	ストの適ち	70性	Ŀ	☑適切である			各協会への負担金であり、適正である。	3				
率	(投入	しする	るコストは適	正か、削	減	〕改善の	余地が	ややある	7					
性	の余り	地は	ないか)			〕改善の	余地が	多い						
	財源	確	保の適切	性	Ŀ	/ 適切で	ある		負担金であり、削減の余地はない。					
			負担は適正な	か、国、県	·等 [	〕改善の	余地が	ややある						
	の補具	助等	はないか)			〕改善の	余地が	多い						
		\			妥	·当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
				点0	1点	2点	3点	令和5年度の行	音泊税(前々年度の宿泊者数が算出根拠となる)は前年度より大幅に増加し	、町				
			いずれか0点	d	С	С	С		る動画制作等に事業費に充てることができた。新型コロナウイルスが5類原 たことで、今後は宿泊税が増えることが予想されるため、他課と協力して。					
	, ,	有							る必要がある。観光資源が乏しい中で、志免町に立ち寄り、より長時間滞在					
1 5		有 効性►	いずれか1点	С	С	С	С	もらうために、	町内の飲食店、施設、イベント等についてさらに広く情報発信していく必要	をが				
1	F 1	性・	合計4点	С	С	b	b	ある。						
柞	<b>食</b>	効し	пы тик		Ŭ	-	~							
Ī	Œ L	举 性	合計5点	С	b	b	а							
新	吉!		合計6点	С	b	а	а							
		111			の内	容は適	切で							

<u>3</u> 力	」 I	~ I I O I	1) L).	」(1) [ 1) [ 1) [ 1] [ 1]	<b></b>	そりこ	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
方向	の   方	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	D		成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√0;	5年度 実施計画事業		]総合戦略該当事業					事務事業コード	0404301
II.	事務事業名		商工業支	援事業	:	ŧ	担当課	まちの	の魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴	史文化	 ・産業の振興	予	会計款	01	一般会計 商工費		
総合計画系	取り組み方針	4-3	地域の商工業と新たな	 :創業者	の育成を支援す	算 科 目	項	01	商工費		
四元	47 7 11107 73 21		る				目	02	商工業振興	費	
根挑	根拠法令条例等		志免町商工会事業費	補助金	· 交付要綱	個	別計画				
実施	期間 🗍 05	5年度0	かみ ②単年	度繰返	不明 年度より開始	台		期間	限定(複数年)	年度	~  年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事业	①対象	⑦ 志免町商工会	団体	1	1	1
事務事業	(誰を、何を)	① 志免町料飲店組合	団体	1	1	1
業		⑤ 町内商工業事業者(商工会登録事業所)	事業所	957	952	955
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内の事業者が充実した様々な活動を行うことができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	商工会活動の振興に携わる志免町商工会への支援等を行う ・補助金の交付 ・商工会との事業連携や情報共有 ・志免ブランドPR等の協力 ・プレミアム付電子商品券発行 ・3町合同起業塾 ・町村フェア出展				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	<b>1</b>	千円	目 標	30,500	28,400	28,400	202.7%
	/白剉		l	IIJ	実 績	59,313	57,564		202.170
1	活動	商工会との当課関連事業連携回数(イベント	<b>1</b>		目標	7	7	6	85.7%
-1	/白到	参加等)	I	Ш	実 績	7	6		83.770
ゥ	成果	商工会が行う中小企業に対する事業件数	<b>1</b>	件	目 標	34	33	31	93.9%
	八人木	同工会が行う中小正来に対する事業件数	I	П	実 績	31	31		93.970
I	成果	  商工会が行う社会福祉活動件数	<b>↑</b>	件	目標	9	9	9	100.0%
	八人木	同二会が1] グロ会価電石動作数	I	П	実 績	9	9		100.070
才	成果	料飲店組合活動事業件数	<b>↑</b>	件	目標	4	4	4	125.0%
~1	从不		I	11	実 績	4	5		123.070
カ					目 標				
73					実 績				

#### (3)総事業費の推移

			原内訳(単位		04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	<b>五入によ</b>	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	42,909	11,700	0	14,607	
業			一般財源		16,407	48,860	57,566	16,800	
#	費	合計(A)			59,316	60,560	57,566	31,407	28,500
費		(内	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	7,424	7,750	8,404	7,603	
		トー	トータルコスト(A)+(B)		66,740	68,310	65,969	39,010	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.97	1.00	1.06	0.95	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町内の商工業を活性化させるため(志免町 商工会は商工活動の振興に携わるため昭和 22年に設立)。	近年の技術革新の進展や国際競争力が激化する中、生産性の短期間向上を目的とした事業に関する事務が国から県市町村に移管されている。	特にない

事務事業名 商工業支援事業

2		f·検証(Cl		()										
		評価の視点				項	[]	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	施策への貢	献度	[	√ 貢献度	高い		事業者を支援する取り組みを行うことは、地域経済が活性化し人々の交						
		事業の成果が <sub>-</sub> 「姿の実現に直			] 貢献度	きふつう		流が盛んになることに結びついている。						
	か)	女の大坑に巨	. <b>н</b>	ິ [	] 貢献度	延低い しょうしん								
妥	意図	の適切性		[	√妥当で	ある		充実した様々な事業活動を展開することは妥当である。						
当		計画、町民の二 けして、意図が過				余地が	ある		3					
性	寺に刈 か)	して、思凶か』	直切での	ື [		余地が	多い	]						
	自治	体関与の必	要性	[	√ 妥当で	ある		商工業活動の活性化は町の活性化につながるため、町の関与は妥当で						
	(自治(	体が主体で取締	狙むべき	事 [		余地が	ある	ある。						
THE STATE OF THE S	業か、個	住民参画の余り	地はない	か) [		余地が	多い							
	成果	の向上余地	ļ	[	期待す	る成果	が得られている	町内の産業支援や地場産業の維持及び充実については、様々な手法が						
	期待	する成果を得ら	られたか.	今 [	√成果の	向上余	(地がややある	あると思われる。						
	を 期付 あるか	∳する成果をあ ヽ)	1) る赤丸	g/),	] 成果の	向上余	*地が多い	]						
有	対象の	の適切性		[	✓ 適切で	ある		町内の事業者と密接に関わっている当団体が最も有効である。						
効		を達成するうえ			] 改善の	余地が	ややある	1	2					
		设定が最も有効 対象設定はない		<sup>19</sup> [	改善の	余地が	多い	]						
	手段	の適切性		[	✓ 適切で	ある		商工会法により商工会が設置されており、この手段が最も有効である。						
		意図を達成するうえで、現状の 手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)		] 改善の	余地が	ややある	]							
			凹に有効	[	] 改善の	余地が	多い	]						
	業務	の効率化		[	☑効率的である			補助金交付の業務が主であるため、効率的に行える。						
	(業務	手順、関与職員	人数につ	วเา [	、□改善の余地がややある			]						
	て見直	亘しの余地はな	いか)	[	] 改善の	余地が	多い							
効	投入.	コストの適 <sup>t</sup>	<b>刃性</b>	[	✓ 適切で	ある		町の補助金以上に事業費を投入し、地域経済の活性化を推進している						
率		するコストは適	証か、削	減	] 改善の	余地が	ややある	ため、町の投入コストは適切である。	3					
性	の余地	也はないか)		[	改善の	余地が	多い							
	財源	確保の適切	性	[	✓ 適切で	ある		町単独の補助金であるが、商品券事業は一部県の補助がある。						
		者負担は適正だ	か、国、県	等 [	]改善の	余地が	ややある							
(	の補助	(特はないか)		[	一改善の	余地が								
				3	<del>(</del> 当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1点	2点	3点	・商工会として	「企画・参加するイベントは予定どおり実施できた。3町(宇美町・須恵町・志	免					
		いずれか0点	d	С	c	С		₹支援も、事業者同士の交流を含め実施することができた。 中央公園で開催された町村会と県主催による「町村フェア」のイベントでは.	/1年					
	有	<u> </u>	-					ースム圏 C 開催された町村会 C 宗王催じる S 「町村フェブコクイベン」 C は による祝い餅まきも実施され、県内をはじめ、県外等の多くの方々へ町をF						
分	· 対	いずれか1点	С	С	С	С	ることができた	た。						
析	性	合計4点	C.	С	b	b		퇅業では、昨年度に引き続き地方創生臨時交付金を活用できたためプレミ も額2億円の電子商品券を発行できた。電子商品券の利用にはスマートフォ						
検	效	<u> </u>				~		で顔とほ竹の竜子尚品券を光行でさた。竜子尚品券の利用にはスマートノオ、スマートフォン操作が苦手な方向けに、総務課と連携して相談窓口を設置						
証	-   洋	合計5点	С	b	b	а	高齢者を中心	に支援することができた。						
結果	, I —	合計6点	C.	b	а	а		l催された志免町文化祭では、商工まつりを同時に開催することができた。 ント「し〜麺vsし〜1グランプリ」も開催され、多くの人が来場した。	人気					
<b>*</b>	`  -	пполк	ŭ	ŭ	<u> </u>	ч	のグルスイベン	クトローを値VSU・イブブブブブリーの用性ですに、多くの人が未場した。						
		а			容は適	切で								
		u	ある											

 <b>万</b>	町(A)	~ I I O I	N) L7.	] [1] [1] [1] [1]	<b>武和未</b>	ぞもこ	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	り方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	<u></u> 05	5年度 実施計画事業				事務事業コード	1204401
哥	<b>事務事業名</b>	吉原	農区活性化事業(吉原農区活性化基金積立金)		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
					会計	01 一般会計		
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予				
合				算	款	06  農林水産業	費	
総合 計画系	ROUSE ユーナタル	1 1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
画 糸	以外組の力可	4-4	適切な辰未のめり月を唯立する 	日	目	07 吉原農区活	性化事業費	
±⊟±b	心法令条例等			ΛE	別計画			
11212	他从中本的可			114				
実施	期間 🗍 05	年度(	Dみ	冶		期間限定(複数年)	年度~	~   年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事務事業の	①対象	⑦ 吉原農区活性化基金	千円	21,441	21,441	21,441
	(誰を、何を)	(d)				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・吉原農区活性化推進を目的に活用される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	吉原農区活性化を目的とした事業に基金の繰入を行う ・基金繰入事務				

#### (2)指標達成状況

(2/1		/\/// L						_	
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	基金繰入事務	1	件	目標 実績	1	0	0	
1	成果	基金繰入額	1	千円	目標	6,500	0	0	
<u> </u>	7,0011					4,869	0		
ウ					実 績				
エ					目標 実績				
才					目標				
					実 績 目 標				
カ					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	話入によ		ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	0	0	0	0	
費	費		合計(	A)	0	0	0	0	
頁		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	汾](B)	75	77	96	98	
		トータ	タルコスト(A	v)+(B)	75	77	96	98	
関	与職員	員数(隼	单位:人)	正職員	0.01	0.01	0.01	0.01	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
志免・宇美浄化センターの契約更新に伴い、 吉原地域農地の改善活性化を目的とした整 備基金を積み立てる事となり、その運用とし て吉原農区活性化事業が開始となった。		農業従事者が耕作し易くなったため、今後の工事を待ち望む意見がある。

2 分析·検証(CHECK)

	_	快証(CF				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
上		策への貢		Ī,	2 貢献度			農業支援、活性化の観点から、確実に耕作に効率化が図られ、結果、産					
		業の成果が」			貢献度	きふつう		業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結び付く。					
か	)	袋の実現に直	結してい	18 F	貢献度	<b>延低い</b>		1					
妥 意	図0	適切性		Ŀ		ある		吉原農区活性化整備基金条例の設置目的に合致しており、吉原農区活					
11/ (%	4	画 町足の一	ーズ、法	<b>令</b> [		余地が	 ある	性化に基金が活用されることは農業支援につながる。	3				
性が	に対し )	画、町氏の二 ,て、意図が通	動切であっ			余地が	多い	1					
		関与の必		_	2妥当で	ある		吉原農区活性化基金条例に基づき、積立てられた基金を活用するため。					
(É	自治体	が主体で取約	lむべき!	<sub>\$</sub> [	一検討の	余地が	ある						
業	か、住	民参画の余り	也はない	か) [	]検討の	余地が	多い						
成	果の	)向上余地		Ŀ	]期待す	る成果	が得られている	町内農用地域では、唯一集積した地域であり、農業支援として有効な事					
		る成果を得ら			一成果の	向上余	地がややある	↑業であり、引き続き当該事業を推進することで、効率的な営農を支援で →き、吉原農区の活性化を目的とした事業に繰り入れできている。					
あ	るか)		17 07,120		一成果の	向上余	地が多い						
有対	象0	)適切性		Ŀ	2 適切で	ある		吉原農区活性化のために積立られた基金であるため、対象は適切であ					
効は	意図を 象設に	達成するうえ Pが最も有効	.で、現状 か、他に	で 有	」改善の	余地が	ややある	<u></u> ం.	3				
		とが最も有効 を設定はない	か)		改善の		多い						
		)適切性	- 1941		/ 適切で			吉原農区活性化に活用するための事業のために、一般会計に繰り入れ   ることは最も有効な手段である。					
手	段が最	達成するうえ 最も有効か、他			=		ややある	ることは取り日がな子校である。					
		ぶいか) D効率化				余地が	多い	  最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。					
<del>  *</del>	ミイカレ	)X) <del>'=</del> ' L		뷰	/ 効率的		151547	取込成の人員であり、これ以上の削減の赤地はない。					
		順、関与職員 の余地はなり		ol L			ややある	-					
<b>址</b> 投	<del>,</del> λ –	ストの適ち	71件	□ 改善の余地が多 □ 適切である			多(1						
X)				朣	=		<b>かわ</b> ある						
	え人 g 余地に	るコストは適 まないか)	止か、削	削減   」 改善の余地が				-					
財	<b> </b> 源码	保の適切	<u></u> 性	T,	<u>」                                    </u>			活動できる国、県等の補助はなく、この事業においては受益者負担の表					
(≅	5公去	負担は適正な	小国但	朣	=		ややある	え方はそぐわない。					
		手はないか)	, , , , ,		改善の	余地が	多い	1					
				妥	当性		分析・	検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点		から令和元年度まで毎年2千万円ずつ積立、合計2億円積立が終了した。な					
		いずれか0点	d	С	С	С		は都市整備課で事業を行っており、今年度については、都市整備課で事業 果では繰入を行っていない。	かな				
	有		<u> </u>					木では赤八で1」とでいるでも					
分析	効性	いずれか1点	С	С	С	С							
171	٠	合計4点	С	С	b	b							
検証	効率性	合計5点	С	b	b	а							
結	性				D	а							
果		合計6点	С	b	a	а							
		a	業務 ある	の内	容は適	切で							

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	0;	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	1304402
II.	事務事業名		糟屋地域農業振興連絡	協議会参画事業	į	担当課	都市整備課 担当係			農業振興係
6/A) /±	14-66				~	会計	01	一般会計		
総体合計	施策	04	まちの魅力の向上と歴史	予算	款	06	農林水産業	費		
計	BD1.1公日ユュナム	1 1	適切な農業のあり方を確	<del></del>	科目	項	01	農業費		
画系	4人の祖の八世	4-4	週別は辰未ののり月で作	<b>∓</b> 丌 9 ②		目	03	農業振興費		
根挑	処法令条例等				個	別計画				
実施	期間 🗆 🗆 05	5年度0	かみ	[繰返 S 54 年度より開始	台		期間	艮定(複数年)	年度 <sup>2</sup>	~  年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

( , ,						
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事務事業	① <b>対象</b>	⑦ 糟屋地区農業振興連絡協議会	団体	1	1	1
	(誰を、何を)	0				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・糟屋地区内農業の近代的農業経営の振興や経営安定と農業経済の向上る	などで	を図る取締	組が活発し	こ行われ
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	糟屋地区農業振興連絡協議会やその下部組織粕屋南部地区農業振興連結協、普及センター)への参画を行い、各団体と連携した取組を行う・会議への出席・企画事業への参画	絡協議	会(志免、	宇美、須	恵、農

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議参加回数	<b>1</b>		目 標	5	4	4	100.0%
,	クシ	<b>公</b>	I	ഥ	実 績	4	4		100.078
1	活動	負担金額	<b>↑</b>	千円	目標	435	435	435	76.1%
1	クロまり	大江 一	ı	111	実 績	324	331		70.170
ゥ	成果	企画事業数	<b>↑</b>	事業	目標	1	1	1	100.0%
	13.	正	I	尹木	実 績	1	1		100.078
I	成果	企画事業参加者数	<b>↑</b>	,	目標	60	60	20	18.3%
	N.A.	工四 <del>节未</del> 多加省数	ı	人	実 績	21	11		10.570
才					目 標				
ر,					実 績				
力					目標				
71					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五人によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源	その化	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	324	440	331	440	
典	費		合計(	A)	324	440	331	440	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	3,209	3,254	2,968	1,420	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	3,533	3,694	3,300	1,860	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.42	0.42	0.43	0.17	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和54年7月13日より実施。 糟屋地区の各町と連帯し農業振興を図る。	米の価格下落により非常に厳しい経営環境 にある中で、地域農業振興連絡協議会によ る営農指導や米の需給調整等を行ってい る。	なし

2	分析	f·検証(Cl	<b>HECk</b>	()						
		評価の視点					項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施策への貢	献度		<b>✓</b>	貢献度	高い		農業関係機関や農協等の営農指導により、地域の特性に応じた振興を	
		事業の成果が」 「姿の実現に直				貢献度	ふつう		図り、産業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結びつく。	
	ロ1日 9 か)	女の大坑に巨	和ロしてい	(S)		貢献度	低い			
玄	意図	の適切性			√   √   √   √   √   √   √   √   √   √	妥当で	ある		事業を通して、農家だけでなく一般町民に対して、地産地消や食育につ	
当	(総合語	計画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	ある	いて考えてもらう機会が提供できており、町としての助成は必要であ	3
性	寺にX) か)	して、意図が通	<b>1</b> 90 €00	ව	□ ħ	検討の	余地が	多い	- నం	
	自治	体関与の必	要性		✓ ¾	妥当で	ある		町だけではなく、農協等農業関係機関と協議会を立ち上げて行ってい	
	(自治(	体が主体で取締	且むべき	事		検討の	余地が	ある	るため、参画の余地はない。	
	業か、	住民参画の余り	也はない	か)		検討の	余地が	多い		
	成果	の向上余地	ļ		□ ji	朝待す	る成果	が得られている	地元のものを食べるという地産地消の意識を持ってもらうことで、糟屋	
		する成果を得ら			✓ J.	成果の	向上余	地がややある	地区の農産物の需要確保が図られるため、向上する余地がある。	
	を知りあるか		1) の赤丸	RW		成果の	向上余	地が多い		
有	対象	の適切性			<b></b> ✓ji	適切で	ある		地元のものを食べるという地産地消の意識を持ってもらうことで、糟屋	
効	(意図を	を達成するうえ と定が最も有効	で、現れ	犬の		改善の	余地が	ややある	地区の農産物の需要確保が図られるため、向上する余地がある。	2
		建たが最も有効 対象設定はない		.19		改善の	余地が	多い	]	
	手段	の適切性			✓j	適切で	ある		意図を達成するためには、関係機関との会議を開催し協議する必要が	
	(意図を	を達成するうえ ぶ最も有効か、ん	で、現物	犬の		改善の	余地が	ややある	あるため適切である。	
		はないか)	RIC.H.W.	J'&		改善の	余地が	多い		
	業務	の効率化			Ζź	効率的	である		最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	
	(業務	手順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある		
	て見直	直しの余地はな	いか)			改善の	余地が	多い		
効	投入	コストの適け	<b>刃性</b>		✓j	適切で	ある		必要最小限で負担しているため、適切である。	
率		するコストは適	正か、削	]減		改善の	余地が	ややある		3
性	の余地	也はないか)				改善の	余地が	多い		
	財源	確保の適切	性		ار اح	適切で	ある		国・県等の補助等はないため、適切である。	
	(受益	者負担は適正な	か、国、県	等		改善の	余地が	ややある		
	の補助	(特はないか)				改善の	余地が	多い		
	/				妥当	i性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,	点	2点	3点		長町が宇美町に変わり、宇美町でふれあい事業として、野菜を活用した料理	
		いずれか0点	d			n	С	至と講話を開	催し定員近くの参加者が集まり、参加者の方には楽しんでもらうことが出来	代/こ。
	有	<u> </u>								
	· 数	いずれか1点	С			С	С			
析	「13	合計4点	С		2	b	b			
杉	效	<u> </u>	Ŭ	L'	_	2	2			
訂		合計5点	С	k	)	b	а			
新男		合計6点	С	k		а	а			
		a	業務ある		内容	は適	切で			

3 /1	当 (人)		N) L).	7.1/1 .17		ے ن	に07年度以降の対応力針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	<u></u> □0!	5年度 実施計画事業				事務事業コード	1304403
Ę	<b>高務事業名</b>		農区等支援事業	=	担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	予	会計	01 一般会計		
合				算	款	06 農林水産業	費	
総合計画系	取り組み古針	1_1	  適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
曲 糸	4人・シッピのアンコルー	4-4	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	Ħ	田	03 農業振興費	Ì	
根拠法令条例等				但	別計画			
実施	実施期間 □05		Dみ < 単年度繰返 不明 年度より開始	冶		期間限定(複数年)	年度·	~  年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	FINTAVIE CHARI	対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 農区	農区	6	6	6
当	(誰を、何を)	① 農事組合	組合	22	22	6
業		⑤ 農業用施設(井堰、ため池)	箇所	26	26	26
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(農区、農事組合)農区、農家間での連携が強化され、地域の農業力が強・(農業用施設)適切に管理される	化され	าส		
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	農区、農事組合等への情報提供や連携できる取組を行う ・水利管理の委託契約事務、委託料支払事務 ・農区長会議、農事組合長会議の開催 ・稲作こよみ説明会の開催				

#### (2)指標達成状況

(4/1		77/// 6							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	·	04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	水利管理委託金額	1	千円	目標 実績	1,710 1,710	1,710 1,710	1,710	100.0%
						1,710	1,710	12	
1	活動	農区長会議開催数	1 ↑	回			12	12	58.3%
					実 績	9	1		
ゥ	活動	農事組合長会議開催数	<b>↑</b>	回	目標	1	1	1	100.0%
	711373	及争幅自民公民的是外	'	Н	実 績	1	1		100.070
エ	成果	農区長会議参加者数(平均)	<b>1</b>	1	目 標	6	6	6	100.0%
	八未	辰区女云俄参加有数(平均 <i>)</i> 	l	人	実 績	6	6		100.0%
才	成果	農事組合長会議参加者数(平均)	Λ	,	目 標	22	22	22	63.6%
7]	以木	辰尹旭口攻云哉乡加召奴(千均)		人	実 績	22	14		03.0%
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		原内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
=	***************************************	特定		出金、地方債	223	223	223	223	(日岡/
事	経	財源		特定財源	0	0	0	0	
業		·	一般則	才源	2,044	2,128	2,024	2,128	
費	費		合計(		2,267	2,351	2,247	2,351	
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	3,209	3,333	3,109	2,183	
		トーク	タルコスト( <i>A</i>	()+(B)	5,476	5,684	5,356	4,534	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.42	0.43	0.45	0.26	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
	各農区とも高齢化が進む中、担い手不足が	なし
	深刻化してきている。そのような状況下で、	
に開始した。	農区内各農家間での連携が重要になってき	
	ている。	

事務事業名 農区等支援事業

2 分析·検証(CHECK)

<u> </u>		・検証(Ch 平価の視点	_	()			項	日	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
F		年価の税が				<b>直接音</b>		Н	農区・農事組合内の連携を強め、スムーズな農業経営、良好な農業環境	刊化
		選択ハ <b>ン</b> 員 業の成果が上		<del>.</del>	ၽ	貢献度 貢献度			辰区・辰争組占内の建張を強め、ヘムーへな辰未経呂、及好な辰未塚境   の形成を行うことで、安定した経営ができる。結果、産業を支援し、住み	
目打	指する	姿の実現に直	結してい	る	=		-		続けたいと思える施策の目的に結びつく。	
か) 一 音		D適切性			=	貢献度 妥当で			  良好な農業環境の形成は公共性が高いため、行政が行うことは妥当と	-
女		画、町民のニ	ーブ 注	<b>-</b> 今	=			<del>+</del> 7	ひれる最大球境の形成は五六性が同いため、行成が行うことは女当と	2
性が	に対し	って、意図が適			=	検討の 検討の				_
13.7		は関与の必	要性		=	受当で		301	  国・県及び町の施策等について、農区・農事組合を通して農家に対して	
				_	ᄩ	検討の			情報提供をすることがあるので、妥当である。	
		が主体で取組 民参画の余均			=	検討の				
成	果0	)向上余地			=			<u>多い</u> が得られている	  農家への連絡調整、水利管理については、農区・農事組合で必要なシス	
		る成果を得ら		、今	⊭			地がややある	テムを構築しており、これ以上の成果の向上余地はない。	
後期	期待で るか)	する成果をあり	げる余均	也が	=			地が多い		
**	,	)適切性			=	適切で		76/1 9 V 1	  情報提供、情報共有及び連絡調整するためには適切である。	
H		達成するうえ	で、現れ	犬の	=			 ややある	IN TRACE WITH THE PROPERTY OF CASE OF	3
/性 对		定が最も有効: 象設定はない:		有	⊨	改善の				J 3
_		D適切性	.5 ,		₽	適切で	.,,.			
		達成するうえ			=			ややある		
		最も有効か、ℓ ないか)	他に有効	な	Ħ	改善の	余地が	多い		
業	務0	)効率化			=	効率的			必要最小限の人員で行っており、効率的である。	
(業	終手	順、関与職員	人数に	つい		改善の	余地が	ややある		
		)の余地はない				改善の	余地が	多い		
効投	:入二	コストの適ち	70性		✓	適切で	ある		必要最小限のコストで行っており、効率的である。	
率(均		るコストは適	正か、肖	刂減		改善の	余地が	ややある		3
性の影	余地	はないか)				改善の	余地が	多い		
財	源研	催保の適切	性		~	適切で	ある		すでに、国、県の補助対象のものについては、交付を受けており、これ以	
		負担は適正が	)、国、県	等		改善の	余地が	ややある	上の財源確保は難しいため、適切である。	
のネ	補助等	等はないか)			_	改善の	余地が			
						当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	-m 1-k-
			0点	1	点	2点	3点		さとの連携を強めていくことによって、災害時の対応等含めて良好な農業り いる。良好な農地形成は、広範囲に災害を抑止する等の利益へとつながる	
		いずれか0点	d	(	С	С	С		いる。及れる最近がある、凶能固に炎音を呼止するもの利益へとうなかる 公平・公正な施策といえる。	ردد
$\Delta$	有	いずれか1点			_					
分析	効性	いりれが1点	С	<u> </u>	С	С	С			
•	•	合計4点	С	(	С	b	b			
検	効率	合計5点	_		b	b	2			
証結	率性	口引り点	С		ט	D	a			
果		合計6点	С		b	а	а			
		a	業務ある		内容	宮は適	切で			

3 方	I對(A	C 1101	N) L7.	が作り	訨裄未	をもと	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも終	掛	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□05	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	1304404
Ę	<b>『務事業名</b>		早期水稲苗育成	対助成事業	1	担当課都市整備課			担当係	農業振興係
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史	 中文化・産業の振興	予	会計	01	一般会計		
合	70521	0 1			算	款	06	農林水産業	費	
総合 計画 系	取り組み古針	1_1	適切な農業のあり方を研	<del></del> 在立する	科目	項	01	農業費		
曲 糸	は、これにいている。	†	週別は辰来ののり月で前	ETT 3 の	П	田	03	農業振興費		
根拠	根拠法令条例等				個	別計画				
実施	期間 🔲 05	年度(	りみ ②単年度	<b>を繰返 不明 年度より開</b>	台		期間阻	艮定(複数年)	年度·	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

<u> </u>	サガサ木 ひ口 りこ サネド					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 農家	軒	82	82	82
労主	(誰を、何を) 	<u> </u>				
事務事業		( <del>)</del>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・水稲作付け時期の調整を行うことにより、農業用水資源の確保及び円滑	骨な活り	用と安定を	化を図る	
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	安定的な農業用水の確保のため、極早生水稲作付に助成金を交付する ・極早生水稲作付農家数、購入苗数の把握 ・補助金交付事務				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	助成金交付件数	<b>1</b>	件	目 標	30	29	26	89.7%
	刀到		Ī	11	実 績	29	26		09.770
1	活動	助成金額	<b>1</b>	千円	目標	790	790	790	94.2%
1	/白到	以形式的	I	111	実 績	737	744		94.270
ウ	成果	極早生水稲作付農家数	<b>^</b>	軒	目 標	30	29	26	89.7%
	以木	整十工小帽1711辰豕奴	ı	¥Ι	実 績	29	26		09.1/0
エ	成果	極早生水稲作付農家確保率(極早生水稲作	<b>^</b>	%	目 標	100	100	100	100.0%
	以木	付農家数/必要な農家数)	l	70	実 績	100	100		100.078
オ					目 標				
					実 績				
カ					目 標				
/1					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五入によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	736	790	744	790	
典	費		合計(	A)	736	790	744	790	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	1,763	1,779	1,584	509	
		トータルコスト(A)+(B)			2,499	2,569	2,328	1,299	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.23	0.23	0.23	0.06	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
水田への引水を全水田農家が一斉に行うと、渇水時には全農地へ必要な水が届かなくなる可能性があるため、引水の時期をずらす必要があることから開始された。	なし	なし

事務事業名 早期水稲苗育成助成事業

2 分析・検証(CHECK)

2 5		・検証(Cl	_	()			τÆ		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>कान</u> ा
		評価の視点					項	. <u> </u>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢		- A		貢献度			農業用水の確保と農業の健全運営は、良好な食糧を生み出し、住民の健 康を守ることで、産業を支援し、住み続けたいと思える施策の目的に結	
目	事務員  指す	事業の成果が」 姿の実現に直	上位施束 結してし	いる	=	貢献度			がつく。	
か		⊕ \ <del>\</del>			=	貢献度				
3		の適切性			Щ	妥当で			農業用水の確保は、農地の健全な運営につながり、健全な農地運営が されることは、景観要素、地球温暖化防止、災害緩衝の機能も期待され	
		計画、町民の二 して、意図が通				検討の	余地が	ある	これることは、京既安米、地球温暖旧防止、火音被倒り成形も期待され	3
ゴエか	١)			_		検討の	余地が	多い		
	自治化	体関与の必	要性		✓	妥当で	ある		町が早期水稲苗育成助成をすることで、農業用水を安定確保すること	
		本が主体で取締				検討の	余地が	ある	ができるため、住民参画の余地はない。	
業	か、信	主民参画の余均	也はない	いか)		検討の	余地が	多い		
成	は果(	の向上余地	ļ		4	期待す	る成果	が得られている	早期作付けをすることで、渇水時でも農業用水の融通が出来、被害を最	
		する成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	小限にできるため向上の余地はない。	
	制付るか	する成果をあ )	ける赤り	でい		成果の	向上余	地が多い		
有対	才象(	の適切性			<b>4</b>	適切で	ある		対象地区を指定しているため適切である。	
効 (意	意図を	達成するうえ	で、現れ	犬の		改善の	余地が	ややある		3
州		定が最も有効 象設定はない		-有		改善の	余地が	多い		
手	F段(	の適切性			~	適切で	ある	-	多くの農家で水稲の作付け時が重なると、渇水時等は生活用水・農業用	
(清	意図を	を達成するうえ	で、現れ	犬の	〒	改善の	余地が	ややある	水の確保ができなくなる為、他に手段はない。	
		最も有効か、f ないか)	也に有効	かな	=	改善の				
_		の効率化			=	効率的			最低限の人員であり、これ以上の削減の余地はない。	
( =	坐黎日	手順、関与職員	. 人 米ケ1 <sup>-</sup> ·	<b>-</b> 11				ややある		
		しの余地はな		201	=	改善の				
効	设入:	コストの適け	<b>刃性</b>		=	適切で				
<i>2</i> 2		するコストは適		IR <del>⊨t</del>	Н			ややある		3
	余地	はないか)	「TTハ、日	1/9%		改善の				
艮	t源(	確保の適切	性		=	適切で		<i>y</i> v ·	国・県等の補助等はないため、適切である。	
(1	m ++ +	KA+01-1×=		= <i>/*/</i> *	Щ			 ややある		
		皆負担は適正な 等はないか)	い、国、児	表	Щ	改善の				
					妥当		71(26/1		I 検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点		点	2点	3点		の助成をすることで、水稲作付け時期の調整を行うことができたが、農業	用水
								の確保及び円流	滑な活用をすることができた。しかしながら、近年の異常気象の影響で、極	早生
		いずれか0点	d	ľ	С	С	С	水稲苗の品種の	の品質が良くないため、農家からは、品種改良等の要望が出ている。	
分	有		С		C	С	С			
析	効性		Ŭ		_	C				
	*	合計4点	С	(	С	b	b			
検	効率性				0	b	_			ſ
証結	性	日前5点	С		)	D	a			
果		合計6点	С		b	a	a			
		a	業務ある		内容	別は適	切で			

 <b>万</b>	町(A)	~ I I O I	N) L7.	] [1] [1] [1] [1]	<b>武和未</b>	ぞもこ	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	り方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	<b>√</b> 05	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業	Ė				事務事業コード	1304406
Ę	事務事業名		農業用施設維持	持管理事業	;	担当課	都	市整備課	担当係	農業振興係
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴		予算	会計款	01	一般会計農林水産業	費	
総合 計画 系	取り組み方針	4-4	適切な農業のあり方を	確立する	科目	項目	01	農業費農地費		
根挑	処法令条例等				1	固別計画				
実施	期間 🗍 05	5年度の	かみ	度繰返 不明 年度より開	始		期間	限定(複数年)	年度 <sup>,</sup>	~  年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

_		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事效	①対象	⑦ 農業用施設(ため池)	面	11	11	11
事	(誰を、何を)	④ 農業用施設(小型水門)	基	83	83	83
事務事業		<b>(9)</b>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・機能が良好に保たれる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	施設の維持補修、新設工事、改良工事、ため池の浚渫等を行う ・各種契約事務、支払事務				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	修繕箇所数	<b>^</b>	箇所	目 標	5	4	4	100.0%
	/口到	沙哈山川	I	凹/71	実 績	6	4		100.076
1	活動	工事箇所数	<b>^</b>	箇所	目標	1	1	1	100.0%
1	/口到		Į.	凹川	実 績	1	1		100.070
ゥ	成果	農業用施設修繕率(修繕等対応箇所数/修繕	<b>^</b>	%	目 標	100	100	80	56.0%
	以木	等必要な箇所数)	Į	70	実 績	64	56		30.076
ェ	成果	農業用施設不具合件数	1	件	目 標	5	3	2	66.7%
	以木	辰未用	<b>V</b>	IT	実 績	2	4		00.778
才					目 標				
7)					実 績				
カ					目 標				
//					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨			ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	1,760	1,900	1,870	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	4,669	4,859	4,402	5,059	
費	費	合計(A)			6,429	6,759	6,272	5,059	31,859
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	汾](B)	2,300	3,096	2,757	3,187	
		トーク	タルコスト(Α	v)+(B)	8,729	9,855	9,029	8,246	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.30	0.40	0.40	0.38	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
農業用施設の破損・老朽化により農業経営 に支障が生じたことから。	農業者の高齢化等により、農家戸数は年々減少してきている。	農業団体から「農業用施設の改修」等の要望がある。

2		r·検証(Cl		()					
		評価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施策への貢	献度		<b>夕貢献度</b>	語い		農業用施設の維持管理を行うことで、農地の保全を図ることができ、農業の振	
		事業の成果が」 「姿の実現に直			貢献度	きふつう		興に貢献している。	
	か)	安の大利に巨	лцосо	٠ ي	貢献度	医低い			
女	意図	の適切性			☑妥当で	ある		農区からの要望や日常点検の結果に基づいた内容であるため、妥当である。	
当		計画、町民の二 けして、意図が通				余地が	ある		3
性	寺に刈 か)		<b>19</b> 10 € 00	ଚ		余地が	多い		
	自治	体関与の必	要性		√ 妥当で	ある		農業用施設の維持管理を行っていくことは農業の振興及び災害の抑制のため	
		体が主体で取締				余地が	ある	行政関与は妥当である。	
	業か、個	住民参画の余り	也はない	か)		余地が	多い		
	成果	の向上余地	,		期待す	る成果	が得られている	修繕要望箇所で実施できていない箇所があるため、修繕計画を立てて補修・	
		する成果を得ら			☑成果の	向上余	地がややある	管理を行うことで成果を向上させることができる。	
	をあるか		1) ठाउँम	8/1/	]成果の	向上余	地が多い		
有	対象	の適切性			✓ 適切で	ある		農業用施設維持管理に必要な対象に絞っているため適切である。	
効	(意図る	を達成するうえ と定が最も有効	で、現状か、他に	め	改善 <i>0</i> .	余地が	ややある		2
		をが取り行が 対象設定はない		H	改善の	余地が	多い		
	手段(	の適切性			✓ 適切で	ある		農業用施設の機能維持のため、現時点で最適と思われる方法にて補修・管理	
	(意図で	を達成するうえ 、最も有効か、化	で、現状	けの	] 改善の	余地が	ややある	を行っている。	
		ないか)	BIC H XI	<i>'</i> &	改善 <i>0</i> .	余地が	多い		
	業務	の効率化			<b>夕</b> 効率的	りである		必要最低限の職員にて事業実施している。	
		手順、関与職員		ol1	] 改善の	余地が	ややある		
	て見直	しの余地はな	いか)		改善の	余地が	多い		
効	投入:	コストの適け	<b>刃性</b>		☑ 適切で	ある		最低限の補修・管理を行うものであり、成果の向上余地はない。	
率		するコストは適	正か、削	減	改善の	余地が	ややある		3
性	の余地	はないか)			改善の	余地が	多い		
	財源	確保の適切	性		✓ 適切て	ある		現在行っている維持管理に対する費用については補助等はないため適切であ	
		者負担は適正だ	か、国、県	等	改善の	)余地が	ややある	<b>ే</b> .	
	の補助	)等はないか)			改善の	余地が	多い		
				3	妥当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1点	2点	3点	農業用施設は	農業用水の確保以外にも災害抑制機能の役割がある。全体的に老朽化が済	進ん
		いずれか0点	d	С	С	С	<b>ぐいるため、</b> ス	定期的に農業用施設の点検を行い、計画的に事業を進めていく。	
	有								
5	[	いずれか1点	С	С	С	С			
析	「竹田・	合計4点	С	С	b	b			
杉	対	b				_			
訂		合計5点	С	b	b	a			
新		合計6点	С	b	а	а			
		a	業務ある		容は適	切で			

3 /	] 本   ( 一	CIIO	N) L).	אר וורע	叫们不	200	に07年度以降の対応方針を検討する]
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	0	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事	業			事務事業コード	1304408
Ą	事務事業名		農業用井堰管理事業		担当課	都市整備課	担当係	農業振興係
<b>松</b> 休	+/- 5/5	0.4		于	会計	01 一般会計		
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	算	刺 款	06 農林水産業	費	
計画系	取り組み方針	1_1	適切な農業のあり方を確立する	科目	項	01 農業費		
曲 糸	4人 シルロのアノリルト	4-4	一切な展来ののグルを確立する		目	05 井堰管理費		
根挑	见法令条例等			,	個別計画			
実施	期間 □05	5年度の	Dみ	開始		期間限定(複数年)	年度 <sup>·</sup>	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

( . ,	PINDAKONDO DE PARI					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	① <b>対象</b>	⑦ 農業用施設(井堰)	箇所	11	11	11
) 游 主	(誰を、何を)	<u> </u>				
事務事業		( <del>)</del>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安全かつ機能が良好に保たれる		•		
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	宇美川水系の瀬戸井堰、南里本井堰、別府上井堰の大型井堰は毎年点検 ローテーションで点検等を行う ・点検業務委託契約事務 ・修繕の実施	、その	他の井堰	は、年1億	所程度

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	井堰点検数	<b></b>	箇所	目標	4	4	4	75.0%
,	/山北/		ı	四//	実 績	3	3		75.070
1	活動	井堰修繕件数	<b>1</b>	件	目 標	0	1	1	100.0%
	/口到	<u> </u>	'	П	実 績	1	1		100.070
ウ	成果	適正に動作する井堰の割合	<b>→</b>	%	目 標	100	100	100	100.0%
	以木	旭江に割けする井堰の引口	'	/0	実 績	100	100		100.076
I					目 標				
					実 績				
才					目 標				
7]					実 績				
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五人によ	入により合計値が合わないことがあります		(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7'	経	財源をの他特定財源			327	400	333	900	
業			一般則	才源	1,499	4,228	4,825	4,338	
典	費		合計(	(A)	1,826	4,628	5,158	5,238	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)				2,603	2,635	2,347	2,009	
	トータルコスト(A)+(B)				4,429	7,263	7,504	7,247	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.34	0.34	0.34	0.24	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
老朽化した井堰の機能維持を図るため、また、豪雨時の災害防止対策として井堰の整備点検を行う。	農業者の高齢化・都市化により農家戸数は 年々減少してきている。	農業団体から整備の要望がある。

2		r·検証(Cl		()		_			
		評価の視点					<u> </u>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢			/ 貢献度	高い		農業用井堰を点検し安全かつ機能を良好に保つことは、農地の保全を   図ることができ、農業の振興に貢献している。	
		事業の成果が」 「姿の実現に直			_貢献度	きふつう		図ることができ、辰未の派典に貝臥している。	
	か)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		貢献度	延低い			
玄		の適切性			2 妥当で	ある		適切な農業のあり方を確立するためには井堰が適正に作動し農業を支	
当		計画、町民の二 けして、意図が通			一検討の	余地が	ある	えることが必要であるため。	3
性	か)				]検討の	余地が	多い		
	自治	体関与の必	要性	Ŀ	2 妥当で	ある		洪水時の災害抑制機能及び農業を振興するため行政関与は妥当であ	
		体が主体で取締			]検討の	余地が	ある	<u></u> పె	
		住民参画の余り		ריעי [	]検討の	余地が	多い		
	成果	の向上余地		Ŀ	/ 期待す	る成果	が得られている	農業用井堰の機能維持のための整備点検を行っており、機能が健全に保たれ	
		する成果を得ら する成果をあ			一成果の	向上余	地がややある	ている。	
	あるか		17 071/20		一成果の	向上余	地が多い		
有	対象	の適切性		Ŀ	/ 適切で	ある		農業用井堰のみを対象としており、変更の余地はない。	
		を達成するう <i>え</i> と定が最も有効		tの [	〕改善の	余地が	ややある		3
性	効な対	設定が最も有効 対象設定はない	か)	<u> </u>	改善の	余地が	多い		
	手段	の適切性		Ŀ	/ 適切で	ある		農業用井堰の安全かつ機能を良好に保つためには、井堰の機能維持のために	
	(意図を	を達成するうえ 、最も有効か、f	で、現状	ぱの	〕改善の	余地が	ややある	定期的な点検を行うことが適切である。	
	手段は	はないか)	510 13703		〕改善の	余地が	多い		
	業務	の効率化			] 効率的	である		必要最低限の職員にて事業実施している。	
		手順、関与職員		on [	] 改善の	余地が	ややある		
		しの余地はな			〕改善の	余地が	多い		
効	投入	コストの適け	<b>刃性</b>		適切で	ある		農業用井堰の機能維持のため、最低限の整備点検を行うものであり、コスト削	_
率	(投入	するコストは適	正か、削	l減 L	ひ善の	余地が	ややある	減の余地はない。	2
11生		也はないか)			〕改善の	余地が	多い		
	財源	確保の適切	性	Ŀ	/ 適切で	ある		国・県等の補助等はないため、適切である。	
		者負担は適正な	か、国、県	!等	」改善の	余地が	ややある		
	の補助	)等はないか)			改善の	余地が			
				-	当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1点	2点	3点	施設の老朽化	が年々進み、突発的な不具合等が発生している。限られた予算では全ての い為、優先順位をつけて点検を行っていく必要がある。	开堰
		いずれか0点	d	С	С	С	とまたできる	い物、酸化原性では、これでは、これでは、これでは、	
Ι,	、有	<u> </u>							
人材	<b>大</b> 対 対 性	いずれか1点	С	С	С	С			
17	1 13	合計4点	С	С	b	b			
村	文 対	h							
訂約	× E H	合計5点	С	b	b	а			
月		合計6点	С	b	а	а			
		a	業務ある	の内	容は適	切で			

3 /	] 本   ( 一	CIIO	N) L).	אר וורע	叫们不	200	に07年度以降の対応方針を検討する]
		コストの方向性		ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)		
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	0	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□0!	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	1304409
텔	事務事業名		ファミリー農園	ŧ.	担当課	都	市整備課	担当係	農業振興係	
						会計	01	一般会計		
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史	2文化・産業の振興	予 算	款	06	農林水産業		
<u>=</u> T					封				具	
画 女	取り組み古針	1_1	適切な農業のあり方を確	⊋☆する	科目	項	01	農業費		
曲 糸	日文・フルログアフリット	4-4 	週別は辰未いめり川で明	ETT 9. 2)	P	目	02	農業総務費		
根挑	処法令条例等				個	別計画				
実施期間 05年度のみ ☑ 単年度繰返 S 53 年度より開始 Ⅲ 期間限定(複数年)							建(複数年)	年度~	~   年度	

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

(1)	<del>ず切ず未</del> v/ロロC <del>サ未</del> r:					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ ファミリー農園	m2	13,797	13,797	12,825
事務事業	(誰を、何を)	0				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・農地として保全される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	地域住民が利用できるファミリー農園としての管理を行う ・土地賃貸借契約事務、土地借り上げ料支払事務				

#### (2)指標達成状況

(4/)		/\///·							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	契約、支払事務件数	<b>↑</b>	件	目標実績	10 10	10 10	9	100.0%
1	成果	農地として保全された面積(ファミリー農園 借り上げ面積)	1	m2	目標実績	13,797 13,797	13,797 13,797	12,825	100.0%
ゥ					目標	13,737	13,737		
_					実 績 目 標				
エ					実 績				
才					目標 実績				
カ					目 標				
					実 績				

#### (3)総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨五入により合計値が合わないことがあります				(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経財源その他特定財源				0	0	0	0	
業			一般則	才源	4,340	4,363	4,795	3,974	
費	費 合計(A)				4,340	4,363	4,795	3,974	
頁	(内 会計年度任用職員人件費)			用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)			分](B)	2,755	3,175	2,898	2,089	
	トータルコスト(A)+(B)				7,095	7,538	7,694	6,063	
関	関与職員数(単位:人) 正職員			0.36	0.41	0.42	0.25		

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
国の政策(昭和53年)により減反した農地を 利用して、町民・地域住民による自家用野 菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり、住 民同士の触れ合いの場、農地緑地の保全な どの多様な目的で事業を開始した。当初の 運営・管理については、地元町内会で行って いた。		近隣住民からの、路上駐車の苦情及び野焼 の苦情がある。

2	分村	折·検証(	(CH)	<u> IECK</u>	()											
		評価の						項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	が施策への	)貢i	献度			貢献度	高い		町民・地域住民が自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり等の						
		います。 ないまでは ないまでもなった。 ないまでものまでものまでもの。 またものまでものまでもの。 ないまでものまでもの。 ないまでものまでもの。 ないまでものものできる。 ないまでものものできる。 ないまでものものできる。 ないまでものものできる。 ないまでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので				>	貢献度	ふつう		多様な目的に活用できる。また、農地を利用することで、住民同士のふ   れあいの場となるほか、耕作放棄地の防止等により、農地・緑地の保全						
	ロ 加 か)	9 安の天坑	に巨河	igU ( V i	ر ھ		貢献度	低い		110000万場となるほか、新F放業地の防止等により、展地・稼地の保主   にもつながるため、結果、産業を支援し、住み続けたいと思える施策の						
妥	意図	図の適切性	ŧ				妥当で	ある		住民同士のふれあいの場等を提供するのは行政の役割ではあるが、希						
出当	(総合	計画、町民	のニ	ーズ、法	令	<b>✓</b>	検討の	余地が	ある	望者すべてに対応できるわけではないため、公平性を確保する観点か	2					
性	寺に か)	対して、意図	いが	[列 ぐめ1	6		検討の	余地が	多い	- ら考えると妥当性は低い。						
	自治	体関与0	)必	要性			妥当で	ある		国の減反政策が終了し、町が主体的にする必要性がなくなってきている						
	(自治	合体が主体で	羽組	むべき	事	<b>✓</b>	検討の	余地が	ある	ため、検討の余地はある。						
	業か	、住民参画の	り余り	はない	か)	)	検討の	余地が	多い							
	成果	その向上が	池			<b>✓</b>	期待す	る成果	が得られている	町内の農地面積は広くなく、使用についても地権者の意向に左右され						
	(期代	する成果を	得ら	れたか、	今		成果の	向上余	地がややある	ることがあるため向上余地はない。						
	俊期 ある	待する成果 <sup>.</sup> か)	とめ	プる赤地	3/)/		成果の	向上余	地が多い							
有	対象	の適切性	ŧ			<b>✓</b>	適切で	ある		ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはなら						
効	(意図	を達成する	うえ	で、現状	<u>(</u> の		改善の	余地が	ややある	ないため、適切である。	3					
性		設定が最も 対象設定は			月		改善の	余地が	多い							
	手段	の適切性	ŧ			<b>✓</b>	適切で	ある		ファミリー農園として利用している間については、耕作放棄地とはなら						
	(意図	を達成する	うえ	で、現状	(の #)		改善の	余地が	ややある	ないため、適切である。						
		が最も有効: はないか)	/ゾヾ、11L	出に有効	<i>ل</i>		改善の	余地が	多い							
	業務	の効率化	է			<b>~</b>	効率的	である		必要最小限の人員で行っており、効率的である。						
	(業務	8手順、関与	職員	人数につ	こしい	\ \	改善の	余地が	ややある							
	て見	直しの余地に	はなし	ハか)			改善の	余地が	多い							
効	投入	、コストの	適均	加性		<b>✓</b>	適切で	ある		必要最小限のコストで行っており、効率的である。						
率	(投入	、するコスト	は適	正か、削	減		改善の	余地が	ややある		2					
性	の余	地はないか	)				改善の	余地が	多い							
	財源	存確保の通	もり かいり もっぱい かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	性			適切で	ある		受益者負担および借り上げ料の値下げによって、コスト削減を図ること						
	(受益	益者負担は通	直正か	、国、県	等		改善の	余地が	ややある	ができる。						
	の補具	助等はない	か)			<b>✓</b>	改善の	余地が	多い							
						妥当	当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
				0点		1点	2点	3点	無断駐車等の	苦情が一部農園で見受けられた。また、利用者間のトラブルも一部農園で	見受					
		いずれか	0点	d		С	С	С		が対応した。今後は、農業振興としての役目は、国の減反政策が終了した時 為、事業の整理をしていき、ファミリー農園の利用者及び区画の把握をして						
	, ,	有	-		H				適切に管理して		. , , ,					
5	]	効 いずれか 性	\1点	С		С	С	С								
木	Τ '	性 ・ 合計4	占	С		С	b	b								
村	<b>£</b> 3	効	,,,,,			•	٥	~								
言	E i	率 合計5	点	С		b	b	а								
糸	自	合計6	点	С		b	а	а								
		b					,あり 直しが									

3 /1	当 (人)		N) L).	7.1/1 .17		ے ن	に07年度以降の対応力針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事	業					事務事業コード	1504201
Ę	事務事業名		伝承文化振興団体支援事業		担	l当課	社会教育課		担当係	社会教育係
総合計画系	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	المار . المار المار	予 算	会計款	01	一般会計 教育費		
計画系	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める	F	科目	項目	05 05	社会教育費 文化振興費		
根护	処法令条例等	志免	町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱		個別	別計画				
実施	期間 🗍 05	5年度の	ひみ ☑単年度繰返 不明 年度より閉	<b>射始</b>			期間防	艮定(複数年)	年度~	~  年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事业	①対象	② 伝統文化振興団体	団体	2	2	2					
事務事業	(誰を、何を)	① 町民	人	46,532	46,588	46,497					
業		(b)									
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(団体)活動が活発に行われる ・(町民)郷土文化に触れることができる									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町の伝統文化の保存、継承を担う団体(志免農区、興風会)への活動支援 ・補助金の交付 ・大会運営に係る一部業務支援	を行う								

#### (2)指標達成状況

(2/1		/\/// L							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	1	千円	目標実績	400	400 400	400	100.0%
					<u>天 模</u> 目標	2	400		
1	成果	大会開催数	1		実績	0	2		100.0%
ウ	成果	石投げ相撲出場者数	<b>1</b>	Y	目標	150	150	150	93.3%
	PAA.	101次101次四%16数	'	人	実 績	未開催	140		93.370
エ	成果	剣道大会出場者数	<b>1</b>	人	目標	380	380	380	82.9%
	13001	为是八公山 <b>勿</b> 自奴	'		実 績	未開催	315		02.570
オ					目標				
~1					実 績				
カ					目 標				
73					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 い合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般財源			439	418	439	
費	費		合計(	A)	0	439	418	439	439
頁		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	汾](B)	607	544	672	357	
		トーク	タルコスト(Α	v)+(B)	607	983	1,090	796	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.08	0.07	0.08	0.04	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
地域伝承スポーツを通して青少年の健全育成を図るとともに郷土の歴史文化に親しみ、志免町の誇りある文化を発信、広め、郷土愛を深めるために主催者に対して助成を行ってきた。		石投げ相撲(志免農区)関係者からの支援要請がある。

事務事業名 伝承文化振興団体支援事業

2	分析	·検証(Cl	<b>HECK</b>	()											
		評価の視点					項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策 判定						
	上位加	施策への貢	献度		☑貢	献度	悪高い		伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機会が増						
		「業の成果が」 姿の実現に直			貢	献度	きふつう		えることは、上位施策の目指す姿「伝統文化に誇りを持ちながら住み続けたい と思えるまちづくり」に直結する。						
	カ) か)	女の大坑に巨	神口してい	項目 評価結果	これがあるのとのことは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで										
妥	意図の	の適切性			✓妥	当で	ある		伝承文化振興団体の活動が活発に行われ、町民の郷土文化に触れる機会が増						
当	総合計	画、町民の二	一ズ、法	令	□検	討の	余地が	ある	えることは、総合計画の取り組み方針である「ふるさと意識を高めること」に						
	寺に刃 か)	して、意図が通	型切ぐめ	ත '	□検	討の	余地が	多い	- 合致し、伝統文化を継承することにつながる。 						
	自治的	本関与の必	要性		✓ 妥	当で	ある		伝統文化を保存・継承していくためには、活動を行う団体に対し、町は主に活						
	自治体	本が主体で取約	且むべき	事	□検	討の	余地が	ある	動費への一部補助など経済的な支援を行い、団体と協働することが必要であ						
	業か、信	主民参画の余均	也はない	か)	□検	討の	余地が	多い	ಾ.						
	成果の	の向上余地			☑期待する成果が得られている				今年度は4年ぶりの開催ができた。今後は広報などを行うことによって、大会						
		する成果を得ら			□成	果の	向上余	地がややある	の参加者数を維持することができる。						
	发期付 あるか	する成果をあ )	ける赤垣	R/J/	□成	果の	向上余	地が多い	1						
有	対象(	の適切性			√適	切で	ある		志免町伝統文化保存継承事業費補助金交付要綱で定められた対象団体のた						
効	意図を	達成するうえ	で、現状	tの #	□改	善の	余地が	ややある	め適切である。						
		定が最も有効 象設定はない		19	□改	善の	余地が	多い	1						
	手段(	の適切性			✓ 適	切で	ある		伝承文化振興団体へ補助金交付などの支援を行うことにより、その活動が活						
	意図を	を達成するうえ 最も有効か、他	で、現状	か	□改	善の	余地が	ややある	発になり、町民の郷土文化に触れあう機会を創出できるため適切である。						
		ないか)	RIC.H XI	<i>'</i> &	□改	善の	余地が	多い							
	業務の	の効率化		☑劾	率的	である		補助金交付事務等は必要最小減の職員で行っており、見直しの余地はない。							
	(業務手	F順、関与職員	Ol1	□改	善の	余地が	ややある	]							
	て見直	しの余地はなり	いか)		□改	善の	余地が	多い							
効	投入二	コストの適ち	70性		√適	切で	ある		費用の削減を行うと維持継続が難しくなるため適切である。						
率		するコストは適	正か、削	減	□改	善の	余地が	ややある							
性	の余地	はないか)			□改	善の	余地が	多い							
	財源码	確保の適切	性		✓適	切で	ある		国や県等の補助等はないため適切である。						
		皆負担は適正な	か、国、県	等	□改	善の	余地が	ややある							
4	の補助	等はないか)			□改	善の	余地が	多い							
				-	妥当性	Ē			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1,	点 2	点	3点	4年ぶりの開催	催で、参加者数が減少することが懸念されたが、計画通り実施できた。今後も団						
		いずれか0点	d	C	: [	c	С	14の活動を積	極的に支援することで、伝承文化の保存・継承に努めていきたい。						
	有				+										
分	効	いずれか1点	С	C	: [	С	С								
析	性・	合計4点	С		,	h	h								
検	効					_	2								
証結	率性	合計5点	С	k		b	а								
果		合計6点	С	b		a	a								
		本的													

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	0;	5年度 実施計画事業	□総合戦略該当事業					事務事業コード	15	504202
III.	事務事業名		文化財整備・保護	ŧ	担当課	社会教育課		担当係	社	会教育係	
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文	で化・産業の振興	予算	会計款	01	一般会計 教育費			
総 合 計 画 系	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める		科目	項目	05 07	社会教育費 文化財保護			
根挑	処法令条例等				個	別計画					
実施	期間 □05	5年度の	かみ ②単年度繰り	返 H 14 年度より開始	Ė		期間	艮定(複数年)	年度	~	年度

#### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)			
事	①対象 (誰を、何を)	⑦文化財	箇所	197	197	197			
事務事業		① 史跡	箇所	2	2	2			
業		(b)							
の目的	の 「 ・・・・・・・・・ ・ (文化財)指定がなされる								
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	各種文化財の認定、適正な保存、管理と史跡整備、保存修理を行う ・文化財保護審議会の運営 ・文化財保存協議会への参加 ・文化財整理作業、委託契約事務、施設の光熱水費支払事務							

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化財保護審議会開催数	<b></b>		目標	1	1	1	100.0%
,	/山北/	人们对你段苗战公师准处	'	1	実 績	1	1		100.070
1	活動	  文化財保存協議会参加数	<b>^</b>	回	目 標	1	0	1	
-1	/白刬	人们别休仔励践云参加致	'	ш	実 績	0	0		
ゥ	活動	文化財整理数	<b>→</b>	箱	目 標	200	200	200	100.0%
	/白刬			↑日	実 績	200	200		100.0%
I	成果	文化財指定数(累計)	<b>→</b>	件	目 標	8	8	9	100.0%
1 —	以木	人们别相比数(杂司)	'	ΊΤ	実 績	7	8		100.076
才	成果	  史跡整備率(史跡整備数/史跡整備計画数)	<b>→</b>	%	目 標	100	100	100	100.0%
	以木	文财走佣平(文财走佣奴/文财走佣引四奴/		/0	実 績	100	100		100.076
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	(IIII)
7	経	財源	-	!特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	3,636	3,611	3,348	4,626	
費	費		合計(		3,636	3,611	3,348	4,626	
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)	(1,204)	(1,236)	(1,313)	(1,614)	
		正職	員人件費[按	分](B)	2,524	2,791	2,841	3,253	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	6,161	6,402	6,189	7,879	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.33	0.36	0.34	0.37	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に担当者を配置。	文化財保存・管理に係る学芸員の数が足りず、思うように整理作業が進まない状況である。	歴史資料室利用者から施設の充実の要望が ある。

事務事業名
文化財整備·保護事業

2		r·検証(Cl		()											
		評価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定						
	上位	施策への貢	献度		☑貢献團	度高い		文化財が整備・保存されることで、まちの歴史・文化を継承することが							
		事業の成果が」 一姿の実現に直			□貢献№	度ふつう		】できるので、総合計画の施策である「ふるさと意識を高める」の取り組 ■み目標と一致する。							
	か)	女の大坑に巨	MD C C	۵,	□貢献№	度低い		か日本と 女する。							
玄	意図	の適切性			☑妥当で	である		文化財保護法や町の文化財保護条例で文化財保存のために必要な措置							
当	(総合語	計画、町民の二 けして、意図が通	ーズ、法	令	□検討	の余地が	ある	を講じることが規定されているため。	3						
性	<del>す</del> に刈 か)	して、思凶か返	型切 ぐめ	ි	□検討の	の余地が	多い	]							
	自治	体関与の必	要性		☑ 妥当で	である		文化財保護法で、公共の関与が示されているため。							
	(自治(	体が主体で取約	且むべき	事	■検討	の余地が	ある	]							
	業か、個	住民参画の余り	也はない	か)	─ 検討	の余地が	多い								
	成果	の向上余地			期待?	する成果	が得られている	文化財を指定して保存することで、文化財を適正に保存できるが、指定							
		する成果を得ら			☑ 成果0	D向上弁	(地がややある	するためには調査・研究する必要があり、時間がかかる。							
	使期付 あるか	fする成果をあ \)	りる赤垣	3///	□ 成果の	D向上余	除地が多い								
有	対象の	の適切性			☑適切で	である		文化財保護法・志免町文化財条例で文化財の対象が規定されている。							
効	(意図を達成するうえで、現状の				□改善の	の余地が	ややある	1	2						
	効な対象設定はないか)				□改善の	の余地が	多い	1							
	手段の適切性				☑適切で	である		対象において、委員会の専門的知識を伺ったり、他市町村の動向を把握							
	(意図る	を達成するうえ	で、現状	め	□ 改善の	の余地が	ややある	したりすることは、文化財を適切に保存していくうえで不可欠である。							
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか) <b>登</b> 終の効変化				□ 改善の	の余地が	多い	]							
	業務の効率化			☑ 効率的	勺である		文化財の保存を適切に行うため、事業内容の工夫や委託を行っている								
	(業務	手順、関与職員	人数につ	) )	□ 改善の	の余地が	ややある	が、専門職員(学芸員)等の人手と時間がかかることはやむを得ず、削減 の余地はない。							
	て見直	直しの余地はな!	いか)		改善 <i>0</i>	の余地が	多い	の未組みない。							
効	投入.	コストの適ち	70性		✓ 適切で	である		文化財を維持するためには適切な方法で管理していく必要があるた							
率		するコストは適	正か、削	減	□ 改善の	の余地が	ややある	め、予算を削減することはできない。	3						
性	の余地	はないか)			□ 改善の	の余地が	多い								
	財源	確保の適切	性		☑適切で	である		対象となる事業がある場合はおうえん寄附金を活用し、財源を確保して							
	(受益	者負担は適正だ	か、国、県	等	□改善の	の余地が	ややある	いる。							
	の補助	)等はないか)			□改善の	の余地が									
	/	/		3	妥当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)							
			0点	15	点 2点	3点	史跡地の管理	など、文化財の保存・整備を進めることができた。専門家の意見等伺いなた。	がら、						
		いずれか0点	d	С	С	С	広く町氏に向き	知できるように設備等の更新を行っていきたい。							
	有				_		-								
£	[	いずれか1点	С	С	С	С									
析	「一性	合計4点	С	С	b	b									
楨	対	h	C	_		D									
訂	正 │産 │合計5点 │ C │			b	b	а									
新 果	結果 合計6点 C				а	а									
		а	業務ある		容は通	動切で									

 <b>万</b>	町(A)	~ I I O I	N) L7.	] [1] [1] [1] [1]	<b>武和未</b>	ぞもこ	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	り方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√05	5年度 実施計画事業 [	]総合戦略該当事業					事務事業コー	7	1504203
Ą	事務事業名		竪坑櫓保存管理事	担当課社会教育課		担当係		社会教育係			
総体	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化	k・産業の振興	予	会計	01	一般会計			
合	NG AK	0 1	のプログログログ		算	款	10	教育費			
総合計画系	取り組み方針	1-2	ふるさと意識を高める		科目	項	05	社会教育費			
曲 糸	4人・フルログアノコルト	4-2	いること思惑を同める		I	目	07	文化財保護	費		
根挑	见法令条例等				個	別計画					
実施	期間 🔲 0 :	5年度の	Dみ ②単年度繰返	H 25 年度より開始	ì		期間	定(複数年)	年月	₹~	年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)	<del>ず加ず未</del> V/ロロC <del>サ末</del> Y:										
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事務事業	① <b>対象</b>	② 竪坑櫓	件	1	1	-					
所事	(誰を、何を)	0									
業		( <del>)</del>									
の目的	・適切に保存、管理される ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)										
事業内容	③手段 (どのようにして)	竪坑櫓が国の重要文化財(平成21年12月8日)となり、文化庁の指導に ・竪坑櫓史跡地整備工事 ・照明施設設置工事	より適	切な保存	管理を行	Ò					

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議(打合せ)回数	<b>1</b>		目標	0	8	-	250.0%
,	/山北	<b>公殿(1)10 C/日奴</b>	ı		実 績	18	20		250.070
1	活動	工事件数	<b>1</b>	件	目標	0	2	-	250.0%
1	/口到	<del>  工事</del>	I	П	実 績	0	5		230.070
ウ	活動	史跡地整備関連の委託件数	<b>1</b>	件	目 標	2	0	-	
	/白剉	文例心を開入性の安配什数	ı	TT.	実 績	2	0		
エ	成果	史跡地整備進捗率	<b>1</b>	%	目標	50	100	-	100.0%
	以木	文例心证明医沙华	l	/0	実 績	50	100		100.076
オ					目 標				
\)					実 績				
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定		出金、地方債	(八升但)	4,314		- (3100 1° <del>47</del> )	
<b>→</b>	経	財源		特定財源	3,799	53,718		-	
業		一般財源			164	0	35	i	
費	費		合計(		3,964	58,032	54,218	-	未定
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)				-	
		正職	員人件費[按	分](B)	2,141	2,398	2,581	-	
		トーク	タルコスト(Α	v)+(B)	6,105	60,430	56,799	-	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.28	0.31	0.31	-	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成21年12月8日に旧志免鉱業所竪坑櫓が国の重要文化財となった。	国の重要文化財として、文化庁の指導のも と適切に保存していかなければならない。	今後の修理費用について、議会から問われ た経緯がある。

事務事業名 竪坑櫓保存管理事業

2 分析·検証(CHECK)

		・検証(Ch 評価の視点					項	<b>=</b>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
上		施策への貢			☑貢繭	腹			総合計画では、竪坑櫓の適切な保存管理と活用を行うことが謳われて	
		業の成果が」			貢献	/度/	ふつう		おり、適切な保存管理することは、施策の「ふるさと意識を高める」取り	
目か		姿の実現に直	結してい	る	□ 貢南	腹	低い		組み目標と一致する。	
妥意	[図0	の適切性			✓ 妥当	áでむ	<b></b> ある		町で策定した「重要文化財 旧志免鉱業所竪坑櫓保存活用計画」により	
当(絲	総合計	画、町民の二	ーズ、法	令	□検討	†のź	余地が	 ある	保存していく必要がある。	3
性か		して、意図が通	動切であ	ත		<b>すの</b> え	余地が	多い		
É	治位	本関与の必	要性		☑妥≌	áでむ	<b>ふ</b> る		文化財保護法で、所有者の管理義務が示されており、自治体が主体的	
(É	自治体	が主体で取組	且むべき	事	□検討	<b>すの</b> え	余地が	ある	に行っていく必要がある。	
業	か、伯	住民参画の余均	也はない	か)	□検討	<b>すの</b> え	余地が	多い		
成	以果の	の向上余地			☑期符	ŧ d a	る成果:	が得られている	旧志免鉱業所竪坑櫓を適切に維持管理するため、定期的な点検を行っ	
		る成果を得らする成果をあ			□成則	₹OF	句上余	地がややある	ていく必要がある。	
	あるか)		1) ठऊम	R/J/	□成則	₹OF	句上余	地が多い		
有	象0	の適切性			☑逾₺	゚゚゚゚゚゙゙	ある		国の重要文化財である竪坑櫓を、保存管理する事業である。	
773		達成するうえ			□改割	きの会	余地が	ややある		3
		象設定はない		н	□改割	きの ź	余地が	多い		
		の適切性			✓ 適t	]でŧ	ある		竪坑櫓を適切に保存していくには、文化庁・県の指導を受けながら適正	
(預 手	急図を	達成するうえ 最も有効か、個	で、現場	代の iな	□改劃	きの会	余地が	ややある	に保存をしていく必要がある。	
手	段は	ないか)	S-1374		□改劃	<b>素の</b> 会	余地が	多い		
	€務()	の効率化			<u></u> 夕 効率	_			竪坑櫓の保存管理事業は、文化庁・県・委員会等の専門的知識を伺いな  がら進めるため適切である。	
		勝手順、関与職員人数につい □ 改善の余地がややある。 直しの余地はないか) □ 3な美の会地が名い							から進めるため適切である。	
1			-				余地が	多い		
χŅ	え人_	コストの適切	列性		一道		-		竪坑櫓を適正な方法で管理していく必要があるため、予算を削減するこ  とはできない。	
		ーるコストは適 はないか)	正か、削	減	]			ややある		3
			.N4-				余地が	多い		
!!!	小沢竹	催保の適切	性		☑ 適切				国・県の補助金や、おうえん寄附金を活用しながら財源を確保していく。 	
		負担は適正が 等はないか)	小、国、県	等				ややある		
	10243	() 10/ 0/ 0/ 1/3 /			_	雪(0)完	余地が			
			0点		妥当性 点 ┃ 2,	ь T	3点		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 史跡地については、令和5年度に史跡地整備工事(緑地化)と照明施設設置	要丁
		$\overline{}$		1,2	点 2;		ン川		文跡地については、〒和3年度に文跡地主禰工事(旅地化/C照明/記畝版) 説明板などの関連工事を行った。これで周辺整備工事は完了となるので、『	
		いずれか0点	d	(			С		・保護事業に統合する。	
分	有	いずれか1点	С		c c		С			
析	効性			-			Ü			
	· 効	合計4点	С	(	c b		b			
検証	率	合計5点	C.	ŀ	) h		а			
結	性						<u>u</u>			
果	果 合計6点 C				) a		a			
	る 業務の内容						切で			

3 /1	当 (人)		N) L).	7.1/1 .17		ے ن	に07年度以降の対応力針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小維持拡大		拡大	
	_15	拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□05	5年度 実施計画事業	当事業					事務事業コード	1504204
胃	<b>事務事業名</b>		歴史資料室運営事業		担当課社会教育課		担当係	社会教育係		
総合計画系	施策	04	  まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振り	興	予	会計	01	一般会計		
合				,	算	款	10	教育費		
計画系	町に組み士針	12	  ふるさと意識を高める		科目	項	05	社会教育費		
画系	4人の小田のアノリル	4-2	かること思惑を同める		Ħ	目	07	文化財保護	費	
根拠	见法令条例等				個	別計画				
実施	期間 🔲 05	年度(	Dみ	より開始	ì		期間阻	限定(複数年)	年度	~ 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

( . ,	予切予 <del>米</del> の口可と予米[]					
事務事業		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
	①対象	⑦町民	人	46,631	46,588	46,497
	(誰を、何を) 	0				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・志免町の歴史や文化財について知識を深めることができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	歴史資料室の運営のほか、イベントや歴史講座など町内の歴史や文化財・歴史資料室の運営、企画展の実施・イベントの開催(文化財ウォーク、炭鉱かるた大会)、歴史講座の開催	の学習	啓発活動	を行う	

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	資料室開室日数	Λ.	日	目 標	280	65	0	100.0%
	/白剉	貝科主用主口奴	ı	Н	実 績	305	65		100.076
1	活動	企画展開催数	<b>1</b>		目標	1	1	1	100.0%
-1	心到	正凹版州准数	I	ഥ	実 績	1	1		100.076
ゥ	活動	イベント、講座等開催数	<b>1</b>		目 標	3	2	2	100.0%
	クシ	「ハント、時圧分所能数	I	Ш	実 績	1	2		100.076
ェ	成果	資料室入場者数	<b>1</b>	,	目標	1,200	300	0	33.3%
	以木	貝科主八物有奴	ı	人	実 績	208	100		33.370
<b></b>	成果	企画展示入場者数	<b>1</b>	,	目標	350	350	350	100.0%
7)	以木			人	実 績	400	350		100.076
カ	成果	イベント、講座等参加者数	<b>1</b>	,	目標	220	200	100	85.0%
71	以未	「ハンド、神座寺参加有数	ı	人	実 績	35	170		85.0%

#### (3) 総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五人によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業		一般財源			608	446	303	306	
典	費		合計(	A)	608	446	303	306	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	2,301	2,096	2,255	3,167	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	2,909	2,542	2,558	3,473	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.30	0.27	0.27	0.36	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に担当者を配置し、歴史資料を公開。	資料室の施設が老朽化してきている。	歴史資料室利用者から施設の充実および担 当職員の増員の要望がある。

2	分析	f·検証(Cl	HECK	()								
		評価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
	-	施策への貢		L.	<b>」</b> 貢献度	医高い		町の歴史や文化財に町民が関心を持つことは、上位施策の文化財や伝				
		事業の成果が」 す姿の実現に直			貢献度	きふつう		統文化に誇りを持ちながら住み続けたいと思えるまちづくりに直結す   る。				
	か)		140 (1		貢献度	医低い						
4		の適切性		Ľ	✓ 妥当で	ある		総合計画の「ふるさと意識を高める」取り組みで、まちの歴史や伝統文				
当性	総合等に対	計画、町民の二 対して、意図が通	一ズ、法	令 [	□検討の	余地が	ある	化を継承することとしているため。	3			
	か)			_ [		余地が	多い					
	自治	体関与の必	要性		✓ 妥当で	:ある		博物館法に基づき地方公共団体が設置した資料室として、調査・研究・				
		体が主体で取組			検討 <i>0</i>	余地が	ある	公開を町が責務として行うことが妥当であるため。 				
		住民参画の余り		(ינו	検討 <i>页</i>	余地が	多い					
		の向上余地		. [	期待す 	る成果	が得られている	コロナ禍、現状のシステムにおいては、成果向上は難しいため、歴史資  料館を建設し、展示施設等をリニューアルすることで、見学者数増が期				
		する成果を得ら まする成果をあ					地がややある	付品で建設し、股小旭設寺でリニューアルすることで、兄子自数垣が期   待される。				
	あるか	۱۱)					地が多い					
. 13		の適切性	_ *5.0	<u> </u>	✓適切で			町民が町内の歴史や文化財に触れ、学ぶための機会となる。				
効性	(意図 対象認	を達成するうえ 设定が最も有効	.で、現り か、他に	tの [[ 有 [-			ややある		2			
江		対象設定はない	か)		=	余地が	多い					
		:の適切性 ***********	- TB/L		<u>√</u> 適切で			町の歴史を知ってもらうための資料の取り扱いは、専門性の高い知識・ 経験が要求されるため、それに精通した専門職員(学芸員)による運営				
	手段力	を達成するうえ が最も有効か、M	」で、現れ 也に有効	な			ややある	一が必要になってくる。				
		はないか)		- [		余地が	多い	   資料室の運営を適切に行うためには、専門職員(学芸員)等の人手と時				
				- Fi	✓ 効率的		11-12-t-7	員杯主の連名を週切に行うためには、等门職員(子云貞)等の八子と時   間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。				
	(業務手順、関与職員人数につい て見直しの余地はないか)				)余地が	ややある						
					(以書の マ) 適切で	.,,,,	多(1	   資料の適正な維持管理や展示をしていく必要があるため、予算を削減				
効率				H			ややある	することはできない。	3			
	(投入 の余地	するコストは適 也はないか)	止か、削		=====	余地が		-	٦			
		確保の適切	件	- 1			301	  補助の対象となる事業が限られているため、補助対象となる事業を行				
			-	H			ややある	う場合は補助金を申請することとしている。				
	の補助	者負担は適正が が等はないか)	か、 国、 テ	· 守	=	余地が		1				
				¥	30000 634性	77,4-073		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
			0点	1点	1 2点	3点	資料室では町	内にある資料の整理作業も進めつつ、展示の更新を行っているが、町民セ	ン			
		いずれか0点	d	С	С	С		により令和7年末まで閉室となっている。	77 I-L			
	_		u	٦				資料館(仮称)建設に関する庁内検討会議報告書」にそって、旧志免鉱業所 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	经项			
5	<b>入   有   交   性</b>	り いずれか1点	С	С	С	С	僧の月辺に庇	文具付品の注放で達めていてこと、元十名の名加元之6410。 				
析		· 合計4点	С	С	b	b						
村証	交叉		С	b	b	а						
絎	5 1			b								
牙	合計6点 C				a	a						
		а	業務ある		容は適	切で						

3 /1	当 (人)		N) L).	7.1/1 .17		ے ن	に07年度以降の対応力針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
			成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	O!	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事	業				事務事業コード	1504205
I	事務事業名		発掘調査事業		担当課	社	会教育課	担当係	社会教育係
総体合	施策	04	まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興	L. 1.4	会計 算 款	01	一般会計 教育費		
総合計画系	取り組み方針	4-2	ふるさと意識を高める	和 F	項 目	05 07	社会教育費 文化財保護		
根挑	根拠法令条例等		財保護法		個別計画	i			
実施	期間 □05	5年度0	Dみ ☑ 単年度繰返 H 4 年度より	用始		期間	艮定(複数年)	年度	~  年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)	予切予未り口可に予未()					
_		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 発掘対象地	件	0	0	0
	(誰を、何を)	0				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・埋蔵文化財に関する記録が保存される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	土地開発等による埋蔵文化財の調査等を行う ・開発事前協議による事前審査 ・試掘調査、発掘調査、埋蔵文化財の整理、報告書作成				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	事前審査件数	<b>1</b>	件	目 標	500	500	500	89.8%
,	/口玉//		I	П	実 績	476	449		09.070
1	活動	試掘件数	<b>1</b>	件	目 標	15	10	10	100.0%
-1	/白到	高以]/出 (干女X	I	TT.	実 績	12	10		100.076
ゥ	活動	発掘件数	<b>1</b>	件	目 標	1	1	0	
	/白剉	光流计数	ı	TT.	実 績	0	0		
エ	活動	発掘面積	<b>1</b>	m2	目 標	100	100	0	
	/白刬	光)	ı	1112	実 績	0	0		
才	成果	報告書作成件数	<b>^</b>	件	目 標	1	1	1	
/)	以木		l	TT.	実 績	0	0		
力	成果	適正に調査が行われた割合(発掘件数/発掘	<b>1</b>	%	目 標	100	100	100	
71	以木	が必要な件数)		/0	実 績	0	0		

#### (3)総事業費の推移

	::::m <del>t</del> 4		京内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
		₫Д∕ЛС∂	うしいにからわ	ないことかめりより	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	67	0	67	
業		一般財源			455	610	536	711	
費	費		合計(	A)	455	677	536	778	
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	2,833	2,710	2,841	3,253	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	3,289	3,387	3,377	4,031	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.37	0.35	0.34	0.37	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成4年に埋蔵文化財を専門とする学芸員が配置され、町主導の発掘調査が始まった。	平成18年度に建築基準法が改正され、事前	開発者から費用負担を減らしてほしいとの意見がある。

2		r·検証(Cl		()										
		評価の視点				項	<b>目</b>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	施策への貢	献度		☑貢献團	度高い		埋蔵文化財に関する調査は、町の歴史を継承する一助となるため、総合						
		事業の成果が」 「姿の実現に直			□貢献№	度ふつう		計画の施策である「ふるさと意識を高める」取り組み目標と一致する。						
	か)	安の天流に巨	лцо с о	٠٧	□貢献№	度低い								
玄	意図	の適切性			☑妥当7	である		埋蔵文化財に関する資料の整備、その周知の徹底を図るために必要な						
当	(総合語	計画、町民の二 けして、意図が通	ーズ、法	令	□検討         ℓ	の余地が	ある	措置を取ることが規定されている。	3					
性	寺にX) か)		19J C00	ଚ		D余地が	多い							
	自治	体関与の必	要性		☑ 妥当7	である		文化財保護法で、公共の関与が示されているため。						
	(自治体が主体で取組むべき事 業か、住民参画の余地はないか)			□検討∅	の余地が	ある								
	業か、個	住民参画の余り	也はない	か)	□検討     ℓ	の余地が	多い							
	成果	の向上余地	向上余地    □期待する成果			する成果	が得られている	埋蔵文化財を適正に保存していくための事前審査照会システムを改善						
		(期待する成果を得られたか、 後期待する成果をあげる余地だ						☑成果0	D向上余	地がややある	することによって、作業の効率化が図られる。			
	をあるか		1) ठऊम	8/1/	□成果0	D向上余	地が多い							
有	対象	の適切性			☑ 適切で	である		埋蔵文化財包蔵地の調査を行うことで、町内の埋蔵文化財に関する記						
	(意図る	(意図を達成するうえで、現状の 対象設定が最も有効か、他に有 効な対象設定はないか) 改善の余地が				の余地が	ややある	<b>一録が適切に保存される。</b>	2					
						の余地が	多い							
	手段の適切性				☑ 適切で	である		埋蔵文化財の調査をすることで、町の歴史の基礎資料が得られ、歴史資						
	(意図で	意図を達成するうえで、現状の 三段が最も有効か、他に有効な				D余地が	ややある	料として保存・活用が図られる。						
		手段はないか)	□改善の	の余地が	多い									
	業務	の効率化			☑ 効率的	勺である		埋蔵文化財を適正に保存していくためは、専門性の高い知識・経験が要						
		養務手順、関与職員人数につい □ 改善の余地が			の余地が	ややある	「求されるため、精通した専門職員(学芸員)が必要になってくる。							
	て見直	「しの余地はなり	いか)		□改善の	の余地が	多い							
効	投入コストの適切性				☑ 適切で	である		埋蔵文化財の調査にかかる機材や備品等は、適切に処理するうえで費   用がかかることはやむを得ない。						
率		するコストは適	正か、削	減	□改善の	D余地が	ややある	3						
1.—		はないか)			□改善の	の余地が	多い							
	財源	確保の適切	性		☑ 適切で	である		埋蔵文化財の調査費用は、原因者負担が原則としている。調査原因な						
	(受益	者負担は適正な	か、国、県	等	□改善の	D余地が	ややある	→人住宅建設に伴う場合は国・県補助が認められ、町も負担することとなーる。						
	の補助	)等はないか)			□改善の	D余地が	多い	٥٠ 						
				3	妥当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1,	点 2点	3点	埋蔵文化財が	を受ける可能性がある土地の試掘調査を行い、適正に埋蔵文化財包蔵5	也図					
		いずれか0点	d	С	С	С	の史新を行う	ことができた。今後、出土した遺物の整理を少しずつ進めていく。						
	有	<u> </u>												
<b>分</b>	[	いずれか1点	С	С	С	С								
析	「竹田・	合計4点	С	С	b	b	1							
楨	対対	h												
訂		合計5点	С	b	b	a								
紀		合計6点	С	b	а	а								
	a 業務のである				容は通	動切で								

3 方針(ACTION) L分析・検証結果をもとにU7年度以降の対応方針を検討する」							
			コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
今後の方向性			皆減	縮小	維持	拡大	
	成果の方向性	拡充		С	В	Α	コストの方向性(一般財源・関与職員数)
		維持		Е	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D		成果・費用とも維持			辪	